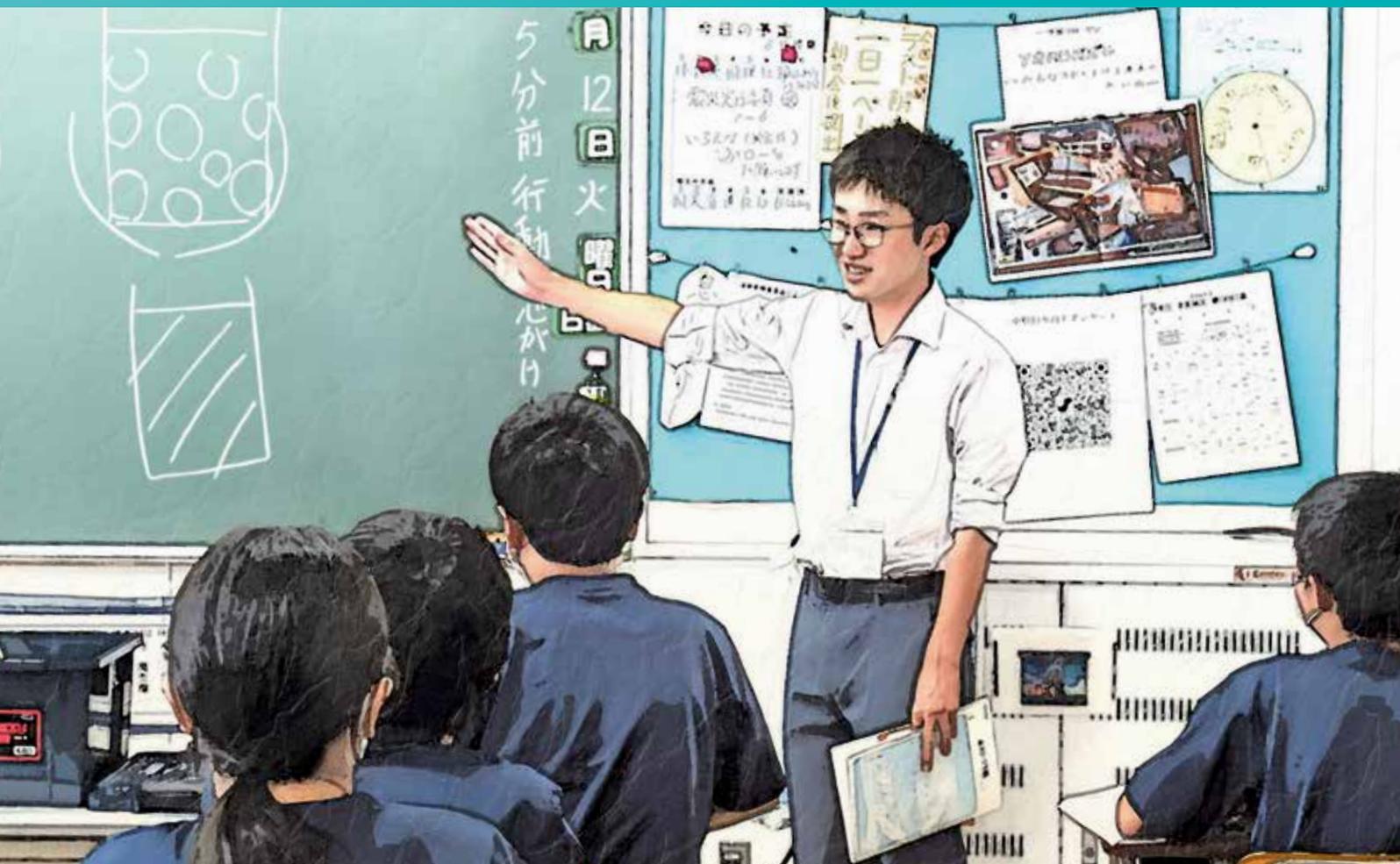


MIYAGI UNIVERSITY of EDUCATION

宮城教育大学

大学案内

2025



教育の未来と
子どもたちの未来のために



宮城教育大学の魅力

「学び続け、深化する教師」を養成します

POINT

01

東北唯一の教員養成単科大学として、 50年以上の伝統と実績があります

- 幼稚園、小学校、中学校(10教科)、高等学校(10教科)、特別支援学校(5領域)の教員免許の取得に対応しています。所定の単位を修得すれば、卒業までに複数の教員免許を取得することができます。
- 特別支援教育は、5領域(視覚障害、聴覚・言語障害、知的障害、肢体不自由、病弱)と発達障害を専門とするスタッフがそろっています。

POINT

02

「人間力」を備えた学校教員を育成しています

- 社会の急速な変化に対応できる「生涯学び続ける教員」を養成するための充実したカリキュラムとスタッフを備えており、在学中のみならず、卒業後も学び続けるためのサポートを行っています。
- 学生と教員との距離が近く、少人数教育できめ細かな指導を受けることができます。多彩な専門分野の教員の指導を受けることで、コミュニケーション能力を身につけながら、学校教員を目指す学友たちとともに豊かな人間性を育み、成長していくことができます。

POINT

03

学校現場での体験を通して実力が身につきます

- 学内での講義科目[専門基盤科目/専門教育科目/専門拡充科目]のほか、学校現場での教育実習[附属学校園(3年次)／協力校(4年次)]および実習に関連づけられたキャリアステップアップ科目によって、理論と実践の往還を体験し、確かな実践力を身につけることができます。
- 学校現場での体験活動、インターンシップ、ボランティアに対する支援体制が充実しており、3年次からの教育実習に先駆けて、早いうちから学校現場での経験を積むことができます。

Contents (数字はページ番号)

1. 宮城教育大学の魅力
2. 学長あいさつ
3. 教育方針
5. 各専攻の紹介
7. 初等教育専攻
9. 中等教育専攻

11. 芸術体育・生活系教育専攻
13. 特別支援教育専攻
15. 学部カリキュラム
16. キャリアステップアップ科目の紹介

17. 1年次学校体験(ふるさとインターンシップ)ボランティア活動
18. 震災学習・学校防災の教育研修海外留学について

19. キャリア形成支援・就職支援就職状況
20. 卒業生からのメッセージ
21. Campus Life

23. Student Life
25. 入試制度
27. 入試情報
28. 学費・奨学金
29. 教職大学院
31. キャンパスマップ



宮城教育大学は、1965(昭和40)年の開学以来、60年近い歴史を持つ、教員養成を目的とした教育大学です。その60年近い歴史の中で、宮城県や仙台市をはじめとしながら、東北の各地域において、数多くの優秀な学校教員を輩出してきています。

本学は、開学以来おおよそ10年程度の間隔において、当時の教育事情に即しながら、教育学部の組織やカリキュラムなどを改革してきました。直近の教育学部改組は、2022年度に実施し、現在、3年目を迎えています。この『大学案内2025』では、こうした教育学部の新しい姿について、ページを追って順次記載しています。

教育・入試や学生生活といったソフト面では、本学の目的である教員養成という機能のさらなる充実・発展をめざして、いろいろな工夫を加えて構想しています。組織では、「初等教育専攻」「中等教育専攻」「特別支援教育専攻」というそれぞれの学校種の教員養成に対応した専攻を設けています。特に、「初等教育専攻」では、学級担任制を基本とした小学校(幼稚園も含む)の教員としての資質・能力の育成をめざしています。さらに、音楽・美術・保健体育・技術・家庭科という実技・技能系の教科については、こうした学校種別の専攻とは別個に、初等教育と中等教育とを統合した形での「芸術体育・生活系教育専攻」という独自の専攻を設置しています。

カリキュラムにおいては、学校教員の職務に応じた教職および教科に関する「専門教育科目」を置くとともに、学校教員としての基盤的な資質・能力を養う「専門基盤科目」、並びに副免許状の取得など学校教員としての専門性の拡

大と充実をめざした「専門拡充科目」といった科目群も充実させています。また、入試においては、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜(前期日程・後期日程)」のそれぞれにおいて、教職への強い興味・関心をもった志願者の確保に力を注いでいます。さらに、サークル活動・ボランティア活動や、海外留学などの課外での学習機会の充実にも留意するとともに、学生の主体的・協働的な活動の支援にも積極的に力を入れています。

一方、施設・設備をはじめとしたハード面の整備においても、様々な取り組みを行っています。学生の主体的・協働的な学修活動に供するための共同利用スペースの整備や、様々なICT機器が利用可能な教室の整備にも取り組んでいます。また、2024年3月には、個室タイプの新しい学生寮(男女合わせて144室)がキャンパス内に完成しました。今後は、緑あふれる青葉山の環境を生かしながら、学生たちが共に語り合い、共に支え合い、共に創造し合えるキャンパスアメニティの向上にも取り組んでいきます。

以上のような「新しい宮城教育大学の姿」に興味・関心を持った方は、是非、この『大学案内2025』を始めから終わりまで、じっくりと味わいながら読んでみてください。そして、毎年、夏の時期に開催される「オープンキャンパス」にも直接足を運んでみてください。本学の先輩たちや教職員は、みなさんとお会いできることを楽しみにしています。

「新しく生まれ変わった 宮城教育大学」へのいざない

宮城教育大学長 松岡 尚敏



アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

1. 基本理念・目標

宮城教育大学は、幅広い視野と教養、高度の専門性、実践的な指導力を有するとともに、強い使命感と情熱、高い倫理観をそなえた教員を養成する教員養成大学です。将来、幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校等において、幼児・児童生徒・保護者・地域・同僚との関わりを大切にしながら、生涯にわたって学び続ける、優れた資質・能力を持つ教員の養成を使命としています。

2. 求める学生像

- 教員となることに強い目的意識を持つ者
- 教員としての資質・能力を身につけるのに十分な基礎的な知識・技能を有する者
- 協調性と向上心を持ち、教員や人間として成長を目指す者
- 基礎的な知識・技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力を有する者

3. 入学者選抜の基本方針

宮城教育大学では、上記の基本理念・目標にふさわしい学生を受け入れるために、学校推薦型選抜、総合型選抜および一般選抜(前期日程、後期日程)を実施し、学力の3要素(①基礎的な知識および技能、②思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)等を多面的・総合的に評価して、入学者を選抜します。

学校推薦型選抜	総合型選抜
<p>初等教育専攻および特別支援教育専攻において、学校長の推薦に基づいて出願する者に関し、出願時の調査書および「学校推薦型選抜レポート」により教員への志向性や基礎的な知識および技能を確認しつつ、「専攻別課題」により知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、「集団面接」および「個人面接」により教員への志向性や主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に評価して、入学者を選抜します。なお、大学入学共通テストは課しません。</p>	<p>芸術体育・生活系教育専攻において、出願時の「総合型選抜レポート」により教員への志向性および思考力・判断力・表現力等の能力を確認しつつ、「個人面接」により教員への志向性や主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、「実技(芸術・体育系教育コースのみ)」により各教科への志向性と技能、大学入学共通テストにより基礎的な知識および技能を総合的に評価して、入学者を選抜します。ただし、宮城県以外の地域において教職に就くことを強く希望する者を対象とした地域定着枠での合格者については、大学入学共通テストは課しません。</p>
一般選抜(前期日程)	一般選抜(後期日程)
<p>初等教育専攻、中等教育専攻および特別支援教育専攻において、大学入学共通テストにより基礎的な知識および技能、個別学力検査等として課す「教育小論文」により教員への志向性および思考力・判断力・表現力等の能力、各教科の学力試験によりそれぞれの分野を中心とした基礎的な知識および技能を総合的に評価して、入学者を選抜します。</p>	<p>初等教育専攻において、出願時の「教員志望理由書」により教員への志向性を確認しつつ、大学入学共通テストにより基礎的な知識および技能、個別学力検査等として課す「個人面接」により教員への志向性や主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に評価して、入学者を選抜します。</p>

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

宮城教育大学は、教員養成に責任を負う大学として、専門性や実践的な指導力を有するとともに、高い倫理観と使命感、情熱を持ちつつ、児童生徒・保護者・地域・同僚との関わりを大切にしながら、生涯にわたり学び続ける優れた資質・能力を持った教員を養成します。

教育の未来と子どもたちの未来を担う教師となるための学修を重ね、4年間に、次の項目に示す資質・能力を身につけた者に対して卒業を認定し、「学士(学校教育学)」の学位(ディプロマ)を授与します。

- 1 学校教育や教職に関する専門的知識および技能を身につけている。
- 2 学習指導に関する理論および方法を活かしながら、教育実践を展開する基礎を身につけている。
- 3 幼児・児童・生徒に対する理解・尊重を基盤としながら、生徒指導に向けて協働しつつ適切に対応する姿勢を身につけている。
- 4 学校の構成員としての役割を理解し、教職員や保護者や地域等と連携・協働しながら、学校を運営していこうとする態度を身につけている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

宮城教育大学のすべての学生が、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる資質・能力を身につけて、学校現場で活躍することを目標として、以下に示す3つの科目区分を基盤とした教育課程を編成し、実施します。

1. 専門基盤科目

専門基盤科目は、すべての学生が、幅広い視野を養い、教員としての基礎的な資質・能力を培うことを目的として授業科目を構成しています。

1 基礎科目

基礎科目は、教育職員免許法で履修が義務づけられている「日本国憲法」、「情報機器の操作」、「健康・運動系科目（体育）」および「外国語コミュニケーション」の4科目と、教員養成大学として学校現場で必須と捉えている「防災教育」に、「外国語科目」を加えた6科目を必修科目として設定しています。

2 教養科目

教養科目は、人間・社会・自然に関する知識を得て視野の拡大をはかるための「知る科目」、課題解決力・思考力・応用力・人間性等を磨くための「磨く科目」、教職への志向性・使命感・教育の基盤となる力を育むための「育む科目」の3つのカテゴリから、それぞれ所定の単位数を履修することにより、学校教員の基盤となる教養や資質・能力を醸成します。

2. 専門教育科目

専門教育科目は、各専攻で卒業要件として設定された教育職員免許状を取得するために必要となる授業科目として、次の4つのカテゴリから、それぞれ所定の単位数を履修することにより、教育職員免許状の取得を目指します。また、生涯にわたり学び続ける教師としての資質を身につけるために「卒業研究」を必修科目として設定しています。

1 教育の基礎的理解に関する科目

教育の理念、教職の意義・役割、学校教育の社会的・制度的な知識、児童生徒の心身の発達および学習の過程、特別の支援を必要とする児童生徒に対する理解、学習指導要領を基準とした教育課程の意義および編成方法など、教育職員として理解しておくべき基礎的な内容を学修します。

2 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

道徳、総合的な学習の時間、特別活動、教育相談、進路指導などに関する理論や指導法について学修します。

3 キャリアステップアップ科目

「教育体験初年次演習Ⅰ・Ⅱ」「教育実践探究演習」「3年次教育実習」「4年次教育実習」「教職実践演習」など、4年間継続した観察・参加・実習という方法により教育実践に関わることによって、学校教育の実際を体験的・総合的に理解します。

4 教科及び教科の指導法に関する科目

教科及び教科の指導法に関して、各専攻で設定した授業科目を履修します。また、専攻・コースの特色を示す「コース専門科目」を履修することにより、学生の専門分野・得意分野を形成します。

3. 専門拡充科目

専門性の更なる高度化、副免許や資格の取得などの科目群「パッケージ」を設定し、将来を見据えた明確な計画のもとで、学生が主体的・自覚的に履修します。

5 教員としての倫理観と使命感、幅広い教養と知性を基にした適切な行動ができる。

6 学校教育における様々な課題を認識し探求心を持って主体的に学び続ける基盤ができています。

7 上記1～6のほか、専攻における学修に応じた資質・能力を身につけている。

初等教育専攻

発達段階に応じた指導力とともに、小学校の各教科等に関する知識・技能を身につけている。

中等教育専攻

専門の教科等に関する知識・技能を基盤として、生徒に適切に対応する学習指導力を身につけている。

芸術体育・生活系教育専攻

芸術体育・生活系の教科等を中心としつつ、異校種または複数教科にわたる教科等に関する知識・技能を基盤として、生徒に適切に対応する学習指導力を身につけている。

特別支援教育専攻

学校における教育活動を通して、児童生徒が障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服できるよう、個性や障害の特性に応じた支援ができる指導力を身につけている。

初等教育専攻

すべての小学校教員にとって必要な資質・能力の育成を重視し、特定の教科や学問分野・領域に特化することなく、「幼年期教育創生コース」「未来づくり教育創生コース」「人文・社会系教育創生コース」「理数・自然系教育創生コース」という大くりの4つのコースを設定しました。入学試験では専攻全体で一括選抜し、2年次より、それぞれのコースに配属されます。

専攻共通科目や各コースでのコース共通科目を開講することにより、自分の得意分野を伸ばしてもらおうとともに、他の専門分野・領域における相互の学び合いを重視した学生指導を実施します。



初等教育専攻長
西城 潔 教授

これまで宮城教育大学から教員として巣立っていった先輩方には、自身の初等教育期における先生との出会いが教職を志すきっかけになったという人が少なくありません。幼年期～小学校時代における先生の影響が、いかにその後の子どもの生き方に影響を与えるものであるかがわかりますね。そう考えると、初等教育の教員とは、実にやりがいのある、また大きな責任を伴う仕事であるといえるでしょう。

初等教育専攻では、特定教科だけでなく幅広い分野に関する専門性を高めるため、得意分野を伸ばすと同時に苦手な領域の克服にも対応できる自由度の高いカリキュラムを用意しています。学校園の参観や教育実習等の実践的学びの機会も豊富にあります。4年間の多面的な学修を通して、子どもたちに夢を与えられるような先生を目指そうではありませんか。

中等教育専攻

中学校（および高等学校）の教員を養成する専攻です。多様な専門分野・領域を学ぶ学生たちがお互いに学び合い、教師としての広がりや奥行きを身につけるといふ「教員養成大学ならではの学び」を実現するために、特定の分野・領域の学問を専門的に学ぶ専攻とはせず、「言語・社会系教育コース」「理数系教育コース」という2つの大くりのコース設定としました。

教育課程全般について総合的に俯瞰できる力の育成も視野に入れつつ、卒業要件となる教科の免許に加えて、他教科や他校種の免許についても取得しやすくなるように教育課程を編成しました。



中等教育専攻長
鈴木 渉 教授

中等教育専攻では、大きく分けて「言語・社会」と「理数」の2つのグループに分かれて学びます。前者では、国語、社会、英語を、後者では、数学や理科を深く学びます。これは、学生たちがただ一つの分野だけでなく、広い知識を持つ先生になるためです。また、実際に学校で教える力も養います。さらに、本学では、他の教科や他の校種の先生になるための資格も取りやすいように授業を組んでいます。

次世代の教育（ICT、STEAM、SDGsなど）も学びます。これらは、ただ教科の知識を教えるだけでなく、広い視野を持って教える力を身につけるためです。

また、生徒が子どもから大人に変わっていくこの時期に、適切に指導するためには、知識だけでなく、人としての豊かな心も大切です。これは、サークル活動やボランティアを通して学ぶことができます。

本学で学んで、素晴らしい先生になって欲しいと、心から願っています。

芸術体育・生活系教育専攻

「音楽」・「美術(図画工作)」・「保健体育(体育)」・「技術」・「家庭科」という芸術体育・生活系の教科に関して、初等教育教員の養成と中等教育教員の養成とを統合した専攻です。

宮城県をはじめとした東北地方全体における教員採用状況に対処していくために「小中履修型」と「中等連携履修型」を設けることにより、複数の免許状を取得することを基本としたカリキュラムになっています。「小中履修型」では、中学校における芸術体育・生活系の教科の免許状の取得に加えて、小学校教諭の免許状も併せて取得します。また「中等連携履修型」では、中学校における芸術体育・生活系の教科の免許状の取得に加えて、中学校における他教科の免許状(国語、外国語、数学のいずれか)も併せて取得するカリキュラムになっています。



芸術体育・生活系教育専攻長
木下 英俊 教授

芸術体育・生活系教育専攻は、音楽教育、美術教育、保健体育、技術教育、家庭科教育の実技系教科で構成され、そのうち音楽、美術、保健体育の教科では入試で実技試験が課されています。

専攻の特徴としては、講義、演習、実技、実験・実習などの様々な授業形態の中で、先進的な教育実践を取り入れ、将来教員になるための指導力を、理論と実践の両面から身に付けることを重視している点が挙げられます。また段階的な学びを通して確かなスキルを獲得し、教師としての資質能力を向上させていきます。

本専攻は大学教員と学生一人一人との距離が近く、教員と学生たちがしっかりとコミュニケーションを取り、協力し合いながら学びを進めています。

4年間、専攻での学びを深め、豊かな学生生活を過ごすことで、人間として成長し、高い専門性と実践的指導力をもった教員になってほしいと願っています。

特別支援教育専攻

特別な配慮を要する児童生徒への指導に対応できる教員を養成する専攻です。特別支援教育のエキスパートとして特別支援学校に勤務して活躍する教員のほか、一般の学校において特別支援教育の指導的な役割を担う教員を養成します。

4つのコース(視覚障害教育コース、聴覚・言語障害教育コース、発達障害教育コース、健康・運動障害教育コース)に分かれて、それぞれの障害種に応じた専門的な知見及びそれを実際の教育活動に結び付けていくことのできる、実践的指導力を有する教員を養成します。また、各コースに「小履修型」と「中履修型」を設けることで、特別支援学校の小学部、中学部、高等部における教員養成を網羅することを目指しています。入学試験では専攻全体で一括選抜し、2年次より、それぞれのコースに配属されます。



特別支援教育専攻長
松崎 丈 教授

本学は、特別支援学校5領域(視覚・聴覚・知的・肢体不自由・病弱虚弱)の教員免許状を全て取得可能な、全国でも数少ない大学です。これに加え、発達障害等の通常学級における特別な教育的ニーズのある子どもたちや重複障害のある子どもたちを指導・支援するための専門性を身に付けるカリキュラムも充実しています。障害の有無に関わらず、一人一人の特別な教育的ニーズに応えるための特別支援教育は、いわば「オーダーメイド」の教育であり、「教育の原点」とも言われています。学習上・学校生活上にさまざまな制限のある子どもたちの可能性を、最大限に引き出し、伸ばしていくための理論や実践を深く学んでいきます。特別支援教育では、子ども一人一人の学びや育ちの実態・特性を適切に見立て、指導に必要な教材・教具や支援の方法を自分で創り出すことも必要になります。「手作り」の教育を自らの創意工夫で積み重ねていく、そんなチャレンジ精神に溢れたみなさんを待っています。

初等教育専攻



オールラウンドな力と子どもの成長を見守る目

就学前教育や初等教育にたずさわる教員には、オールラウンドな知識に加え、幅広い年齢にわたる子どもたちの発達の過程に応じた子ども理解・適切な指導力が必要です。しかも、子どもたち自身だけでなく、子どもたちを取り巻く環境は常に変化していきますので、教員にはそれに対応するために必要な柔軟性やコミュニケーション能力、豊かな人間性が求められます。初等教育専攻では、教員に求められる基盤的な資質・能力を身につける「専門基盤科目」、教職など教育の基礎的理解に関する科目や教育実習および関連諸科目からなる「専門教育科目」など、全専攻に共通した授業科目を通じて、確かな知識・実践的指導力・コミュニケーション能力を身につけた、人間性豊かな教員の養成を目指しています。

教科横断的な4コースから形成される総合的な学び

全専攻に共通する授業科目の履修をベースとしながら、それに加えて「小学校（幼稚園）における各教科（領域）等の教育法」や「小学校（幼稚園）の教科（領域）等に関する専門科目」を履修します。これらの授業科目で卒業要件単位の約8割を占めますが、さらに所属コースでの「コース専門科目」等を履修し、得意分野を伸ばして個性を磨きます。

取得可能免許

コース	卒業の要件を満たせば取得できる免許状	卒業要件を満たし、更に所定の単位を修得すれば取得できる免許状※
幼年期教育創生コース	<ul style="list-style-type: none"> ■ 幼稚園1種 ■ 小学校1種 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中学校1種(2種) ■ 高等学校1種 ■ 特別支援学校1種(2種)
未来づくり教育創生コース	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小学校1種 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 幼稚園1種(2種)
人文・社会系教育創生コース		<ul style="list-style-type: none"> ■ 中学校1種(2種) ■ 高等学校1種
理数・自然系教育創生コース		<ul style="list-style-type: none"> ■ 特別支援学校1種(2種)

※ 修得しなければならない単位数は、所属するコースや取得を希望する免許状の教科によって異なります。
 ※ 希望する免許状の種類によっては時間割の都合などで取得できない場合があります。



確かな学力と実践的指導力を備えた、
個性あふれる幼稚園教諭・小学校教員の育成を目指します

● 幼年期教育創生コース

このコースのみ、小学校(1種)の教員免許状に加えて、幼稚園(1種)の教員免許状の取得が卒業要件となっています。子どもの発達と教育に関する広い視野と高い専門性を身につけた、実践力のある幼稚園教諭や、就学前教育との接続・連携についての理解と指導力のある小学校教員を養成します。



● 未来づくり教育創生コース

教育学や教育心理学の研究成果をベースに、子どもの発達と適切な指導法や学力・コンピテンシーについての学びを深めるほか、地域社会と学校とのかかわり等の教育課題を踏まえつつ、未来を見据えた教育の構想づくりや、多文化共生社会の実現に向けた取り組みなどについての学びを通して、現代的な学校教育課題について複合的・多角的に考察できる小学校教員を養成します。



● 人文・社会系教育創生コース

言語活動の充実と共生社会の実現を目指して、ことばについての知識と理解を深めるほか、コミュニケーション能力を向上させ、さらに現代社会に関する多面的な知識と理解を身につけることを通して、国語・英語・社会科等を得意とする実践的指導力のある小学校教員を養成します。



● 理数・自然系教育創生コース

数理・自然科学の各専門分野について一定の基礎知識を身につけた上で、自分自身の関心ある分野についての学びを深めることで、自然科学を学ぶことの意義や楽しさを授業や実験を通じて子どもたちにしっかり伝えることができ、算数・理科等を得意とする実践的指導力のある小学校教員を養成します。



\\ 在学生 Voice! //



幼年期教育創生コース/3年 鎌田 萌花さん 聖霊女子短期大学付属高等学校卒業

私が在籍している幼年期教育創生コースは、初等教育専攻のコースで唯一、幼稚園の教員免許を取得することができるコースです。例えば、チャイルドビジョンを作り、実際に構内を歩いてみるといった講義があります。この活動から子どもたちの視野の範囲の狭さを体験することができます。このような学習で、自分が幼児だった時の先生方の支えや導きに気づくことができます。教職は特に、座学だけでは十分な知識を得ることができないと思います。普段の実践的な講義から自分で体験してみる重要さを学ぶことができます。

中等教育専攻



担当教科に関する深い専門性と実践力／ 適切な生徒指導ができる指導力と豊かな人間性

中学校・高等学校教員には、担当教科に関する専門的な知識と、それを生徒たちにしっかり伝えることのできる実践力が必要です。また、子どもから大人へと変容し始める生徒たちに適切に対応する指導力と、それを支える豊かな人間性が求められます。本専攻は、全専攻に共通する授業科目の履修

をベースとして、「言語・社会系教育コース」と「理数系教育コース」の2つのコースでの「教科の専門的事項に関する科目」等を通じて、理論に裏打ちされた専門的な学力と実践的指導力とのバランスのとれた、指導力ある教員の育成を目指しています。

取得可能免許

コース・教科		卒業の要件を満たせば取得できる免許状		卒業要件を満たし、更に所定の単位を修得すれば取得できる免許状※2
言語・社会系教育コース	国語	■ 中学校1種(国語)	■ 高等学校1種(国語)	■ 幼稚園1種(2種) ■ 小学校1種(2種) ■ 中学校(他教科)1種(2種)
	社会	■ 中学校1種(社会)※1		
	英語	■ 中学校1種(英語)	■ 高等学校1種(英語)	
理数系教育コース	数学	■ 中学校1種(数学)	■ 高等学校1種(数学)	■ 高等学校(他教科)1種 ■ 特別支援学校1種(2種)
	理科	■ 中学校1種(理科)	■ 高等学校1種(理科)	

※1 社会における高等学校1種(地理歴史又は公民)は、卒業要件に加え一定の単位を積み上げる事で可能です。

※2 修得しなければならない単位数は、所属するコースや取得を希望する免許状の教科によって異なります。

また、希望する免許状の種類によっては時間割の都合などで取得できない場合があります。



子どもから大人へと変容し始める生徒たちに適切に対応することのできる、
確かな専門的学力と実践的指導力のある教員の養成を目指しています

● 言語・社会系教育コース

国語

言語活動を支える、広くかつ深い知識と実践力を備えた国語教員を養成する

中学校・高等学校において「国語」を教えるための基礎となる国語学・国文学・漢文学などの各分野及び国語科教育の専門科目の学びを通して、高い資質と確かな指導力を備えた国語教員を養成しています。

社会

現実社会と向き合いながら確かな指導力を持った社会科教員を養成する

地理学、歴史学、法律学、政治学、社会学、経済学、哲学、倫理学の基本的な考え方を学ぶ「概論」のほか、社会科教育の理解と指導方法を学ぶ社会科教育学の科目、個別の専門分野・テーマを掘り下げる各分野の「講義」と「演習」での学びを通して、指導力ある社会科教員を養成しています。

英語

グローバル社会の進展に対応し、
知識・技能だけでなく実践力のある英語教員を養成する

英語教育学・英語学・英語文学・英語コミュニケーション・異文化理解という、相互に関連した領域の学びを通して、実践力のある教員を養成しています。授業のほかに英語圏への短期／長期の留学をサポートするなど、英語による実践的なコミュニケーション能力と、学校教員としての指導力を身につけることができます。



● 理数系教育コース

数学

広い視野と優れた能力をもった、実力ある数学教員を養成する

中学校・高等学校において数学を教えるための基礎となる、数学(代数学・幾何学・解析学など)および数学教育の専門科目を学ぶことによって、高い資質・能力と確かな指導力を備えた数学教員を養成しています。

理科

自然科学についての専門的な知識と、確かな指導力を持つ
理科教員を養成する

理科の教育内容の柱である物理・化学・生物・地学の4分野を網羅して自然科学について広くかつ深く理解しながら、理科の指導法や教材作成などを実践的に学ぶことを通して、中学校・高等学校の教員として確かな指導力を持つ理科教員を養成しています。



\\ 在学生 Voice! //



(写真左)

理数系教育コース(数学)／3年 藤嶋 沙綾さん 青森県立八戸高等学校卒業

私が所属する理数系教育コース(数学)では、大学数学の授業に加え、2年生に上がってからは、教
師目線や学習指導要領と授業構成の兼ね合いなど、授業を行う上での裏側についても学んでいます。

1年生から附属校への見学があり、早い段階でリアルな教育現場を見ることができます。また私はだれ
でも参加できる「1年次学校体験(ふるさとインターンシップ)」という取り組みに参加し、生徒の頃はわか
らなかった教師の裏側を体験できました。是非皆さんも学生への手厚いサポートのある宮教で教師を目
指してみませんか!

芸術体育・生活系教育 専攻



教科に関する深い知識と専門的技能・技術、豊かな教養に支えられた創造性

本専攻では、全専攻に共通する授業科目の履修をベースとして、「芸術・体育系教育コース」および「生活系教育コース」の2つのコースで、小学校または中学校の各教科の「教科の専門的事項に関する科目」を通じて、理論に裏打ちされた専門的な学力と技能・技術を兼ね備えた実践的指導力とのバランスのとれた、指導力ある教員の育成を目指しています。

卒業要件は、「音楽」「美術」「保健体育」「技術」「家庭」の中学校(1種)の教員免許状のほかに、小学校(1種)の教員免許状または「国語」「英語」「数学」のいずれか1つの中学校(1種)の教員免許状の取得となっています。中学校・高等学校での実技・技能系教科の教員としてだけでなく、実技・技能系教科の得意な小・中学校教員を養成します。

取得可能免許

コース・教科		卒業の要件を満たせば取得できる免許状		卒業要件を満たし、更に所定の単位を修得すれば取得できる免許状※
芸術・体育系教育コース	音楽	■ 中学校1種(音楽)	■ 小学校1種または中学校1種(国語、英語、数学のいずれか1つ)	■ 幼稚園1種(2種)
	美術	■ 中学校1種(美術)		■ 小学校1種(2種)
	保健体育	■ 中学校1種(保健体育)		■ 中学校(他教科)1種(2種)
生活系教育コース	技術	■ 中学校1種(技術)		■ 高等学校1種
	家庭科	■ 中学校1種(家庭)		■ 特別支援学校1種(2種)

※ 修得しなければならない単位数は、所属するコースや取得を希望する免許状の教科によって異なります。
 ※ 希望する免許状の種類によっては時間割の都合などで取得できない場合があります。



実技・技能系教科に関する深い知識と専門的スキル・技術とを兼ね備えた、指導力ある教員の養成を目指しています

● 芸術・体育系教育コース

音楽 専門的スキルと知識を身につけた音楽教員を養成

音楽に関する実技や理論および音楽全般にわたる知識の修得に加え、音楽教育についての実践的な学びを通じて、音楽を通して豊かな感性と創造力とを育成できるような、深い教養を身につけた音楽教員を養成します。



美術 美術に関する深い知識とスキルを併せ持った教員を養成

美術や図画工作は、表現活動を通して自己の感性を磨き、豊かな創造性を備えた人材を育てるための重要な教科です。美術理論や美術史のほか、絵画・彫塑・デザイン・工芸などの科目を通じて、専門的知識とスキルを身につけ、指導力のある教員を養成します。



保健体育 理論と実践の学びを通して、力量のある保健体育教員を養成

保健や体育・スポーツに関する基礎科学と実技を幅広く学び、具体的な技術や指導法を身につけることで、体育・健康に関する充実した指導によって豊かな心と健やかな体を育成することのできる、保健体育教員としての力量を育みます。



● 生活系教育コース

技術 「つくることで学ぶ」を実践できる技術科教員を目指して

インターネットやプログラミング等の情報の技術、木材や金属等の加工の技術、電気や機械のエネルギー変換の技術、生物育成の技術に関する基礎的な知識・スキルを身につけ、ものづくりによって生活や社会における問題を実践的に解決していく資質・能力を育成できる教員を養成します。



家庭科 衣・食・住・保育の観点から家庭生活を科学する

衣・食・住など日常生活を構成する多様な要素(モノや技術など)を科学的な視点から分析・考察し、生活をより豊かで奥行きのあるものにするように研究を深めつつ、実験・実習を通して実技に強い家庭科教員を養成します。



\\ 在学生 Voice! //



芸術・体育系教育コース(美術) / 3年 庄司 知優さん 宮城県仙台第一高等学校卒業

芸術・体育系教育コース(美術)では、絵画やデザイン、彫塑など幅広い分野を学ぶことができます。握るのは絵筆ではありません、パソコンのマウスやハンマーも手に取り、新たな価値を創造します。私は、この個性あふれる授業で学んでいることを活かし、多角的な考えで「一般的」から抜け出せる力を持つ生徒を育てる教員になりたいです。

まず私たちが、宮教のような伸び伸びとした環境で学ぶことで、将来生徒にも心躍るような授業を行うことができるのだと思います。宮教を目指すみなさんの理想の教員像も、ぜひ教えてくださいませんか？

特別支援教育 専攻



障害のある子どもの可能性を引き出そう

本専攻では、特別支援学校(1種)の教員免許状のほかに、基礎免許として小学校(1種)の教員免許状または中学校(1種)の教員免許状(1科目選択)の取得が卒業要件となっています。視覚障害教育コース、聴覚・言語障害教育コース、発達障害教育コース、健康・運動障害教育コースの4コースの下、障害のある様々な児童・生徒に的確に応えることができ、一人一人と向き合っ、その可能性を引き出せる教員の育成を目指しています。特別支援教育のエキスパートとして特別支援学校に勤務して活躍する教員のほか、一般の学校において特別支援教育の指導的な役割を担う教員を養成します。

教育現場では特別支援教育の充実が重要な課題となっており、本学は障害のある子どもたちの多様なニーズに応えられる教員の養成に力を入れています。本専攻には、特別支援教育の対象となる全ての障害種別に対応するスタッフが揃い、卒業要件となる単位を超え、さらに他領域の単位を修得することで、5つある特別支援教育領域全ての特別支援学校教諭免許状の取得が可能な、全国でも有数のカリキュラムを備えています。以下の所属コースにおいて、特別支援教育全般について広く学びつつ、各コースの専門性を深めることができます。

取得可能免許

コース	卒業の要件を満たせば取得できる免許状	卒業要件を満たし、更に所定の単位を修得すれば取得できる免許状※2
視覚障害教育コース	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特別支援学校1種 (コースに応じて領域※1が指定される) ■ 小学校1種または中学校1種 (1教科) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特別支援学校1種 (指定以外の領域) ■ 幼稚園1種 (2種) ■ 小学校1種 (2種) ■ 中学校1種 (2種) ■ 高等学校1種
聴覚・言語障害教育コース		
発達障害教育コース		
健康・運動障害教育コース		

※1 学校教育法第72条に規定する視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む)に関するいずれかの教育領域のこと。

※2 修得しなければならない単位数は、所属するコースや取得を希望する免許状の教科によって異なります。

また、希望する免許状の種類によっては時間割の都合などで取得できない場合があります。

- 特別支援学校教諭免許状取得には基礎免許として小学校教諭1種免許状又は中学校教諭1種免許状(最低1教科)が必要です。
- 中学校教諭1種免許状の要件を満たし、さらに所定の単位を修得すれば、高等学校教諭1種免許状も取得できます。
- 特別支援教育に関する科目について所定の単位をさらに修得することで、特別支援学校教諭1種免許状において指定される全ての領域の免許状を取得することができます。



障害のある様々な子どもたちに的確に応えることのできる
教員の育成を目指しています

● 視覚障害教育コース

視覚障害教育は、点字の読み書きや白杖歩行の指導、網膜像を拡大する支援機器についての知識を身につけるだけでなく、一人一人の見え方や育ちに寄り添い、個別的な教育的ニーズを踏まえながら、よりよいサポートのあり方を考えたり就学環境を整えたりする必要があります。視覚障害教育コースは、視覚障害の教育的支援の観点から、実践的な理論・技能を包括的に学ぶコースです。また、視覚障害教育の専門家を育てる北海道・東北地区唯一の高等教育研究機関でもあります。



特別支援教育専攻

● 聴覚・言語障害教育コース

ろう・難聴などの聴覚障害、吃音・構音障害・言語発達遅滞などの障害、さらには障害が重度かつ重複している人の言語やコミュニケーションの問題について、深く学び、研究していくことができます。さらに、教育実践活動に参加して、教育的支援の実際を理論的・実践的に捉えたり、聴覚障害のある本学学生への支援ボランティアを経験したりすることで、聴覚障害のある者への情報保障についても実践的に学ぶことができます。



● 発達障害教育コース

知的障害・発達障害のほか、これらの障害とも関わりが深い不登校・児童虐待などについても深く学び、研究していくことができます。具体的には、知的障害や発達障害のある子どもたちへの教育的支援の方法やそれを支える教育制度、障害の背景にある心理的・生理的メカニズムや原因疾患、これらに関連する教育的評価の方法などについて、理論的かつ実践的な視点から学ぶことができます。



● 健康・運動障害教育コース

病気の子どもや運動障害のある子どもたちが体験する困難や教育的ニーズを深く理解した上で、それらに対応するための教育的支援のあり方について実践的に学び、教材・教具や補助具、ICT機器などを用いた具体的な支援や指導の方法を身につけます。また、ボランティア等の経験を通して、病気や身体機能に障害のある子どもたちとのかかわり方を考え、実践的に学ぶことができます。



\\ 在学生 Voice! //



聴覚・言語障害教育コース/3年 佐藤 亮太郎さん 福島県立磐城桜が丘高等学校卒業

皆さんこんにちは!宮城教育大学では専攻やコースの主免許以外にも様々な教員免許の取得をすることができます。私は自分自身のコース以外の障がいの領域免許も取ろうと今授業を頑張っています。また年間を通してボランティア活動をしていたりインターンシップの活動が一年生から行われています。そういった活動を通して私は特別支援学校教員を更に目指そうと思うようになりました。皆さんも宮城教育大学で楽しいキャンパスライフを送りましょう!

1 専門基盤科目

専門基盤科目は、すべての学生が、幅広い視野を養い、教員としての基礎的な資質・能力を培うことを目的として、以下の2つのカテゴリーから科目を履修します。

● 基礎科目

- 日本国憲法
- 情報活用の基礎
- 健康・運動系科目
- 外国語科目
- 外国語
コミュニケーション
- 防災教育

● 教養科目

- 知る科目
 - 人権教育
 - 人間と音楽
 - 持続可能な社会
 - 性・文化・ジェンダー
 - 東北の教育と人づくり
 - 東北・宮城の教育事情など

■ 磨く科目

- コミュニケーション論
- 環境教育
- 情報メディアの活用
- 多文化教育入門
- 地域に根ざした教育実践 など

■ 育む科目

- 適応支援論
- 子ども学
- 生涯学習論
- 学校の安全管理と防災教育
- 地域フィールドワーク研究 など

2 専門教育科目

専門教育科目は、各専攻で卒業要件として設定された教育職員免許状を取得するために必要となる授業科目として、以下の4つのカテゴリーから、それぞれ所定の単位数を履修することにより、教育職員免許状の取得を目指します。

また、生涯にわたり学び続ける教師としての資質を身につけるために「卒業研究」を必修科目として設定しています。

● 教育の基礎的理解に関する科目

- 教育の原理
- 教職入門
- 教育の制度・経営
- 教育と地域社会
- 発達と学習の心理
- 特別支援教育理解
- 幼稚園教育課程論

● 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

- 道徳の理論及び指導
- 総合的な学習の時間の指導法（特別活動を含む。）
- 教育課程と教育方法
- 情報活用能力育成実践論
- 児童・生徒理解
- 幼児理解
- 教育相談（カウンセリングを含む。）

● キャリアステップアップ科目

- 教育体験
初年次演習
- 教育実践
探究演習
- 3・4年次
教育実習
- 教職実践
演習

● 教科及び教科の指導法に関する科目

- （各教科の指導法に関する科目）
- 保育内容の指導法
- 各教科の教育法（初等）
- 各教科の教育法（中等）
- 幼稚園の領域科目
- （教科に関する科目）
- 小学校の専門科目
- 中学校の専門科目
- コース専門科目
- 特別支援専門科目

卒業研究

3 専門拡充科目

専門性の更なる高度化、副免許や資格の取得などの科目群「パッケージ」を設定し、将来を見据えた明確な計画のもとで、学生が主体的・自覚的に選択しながら履修します。

● 特別支援教育に関するパッケージ

初等教育専攻および中等教育専攻の学生が、特別支援学校2種免許状を取得する場合など

● 小学校1種および2種のパッケージ

中等教育専攻の学生が、小学校1種または2種免許状を取得する場合など

● 中学校1種および2種のパッケージ

初等教育専攻の学生が、中学校1種または2種免許状を取得する場合など

● 小型パッケージ

- 学校防災・安全教育
学校防災教育関係の科目をプラスして取得する場合など
- 情報活用能力教育
情報活用能力教育関係の科目をプラスして取得する場合など
- 小学校英語教育
小学校英語関係の科目をプラスして取得する場合など
- 地域関連教育
東北地域の教育に関する科目をプラスして取得する場合など

- グローバル教育
グローバル教育関係の科目をプラスして取得する場合など
- 特別支援教育
特別支援教育に関する科目をプラスして取得する場合など
- 小学校教科専門
小学校教科専門に関する科目をプラスして取得する場合など
- 学校図書館司書教諭
学校図書館司書教諭任用資格を取得する場合

1年次

□ 教育体験初年次演習

教育体験初年次演習は、卒業後の将来を見据えつつ、教職への関心を培い、教職への意欲・情熱・使命感等を高めるとともに、4年間を見通した学修計画を立てて主体的に学ぶ姿勢を作るといったキャリア教育的な要素を持った授業科目です。さらに、大学での専門的な学修や研究に取り組むための技術・能力を磨き、入学後1年間をかけて教育大学の学生としての資質・技能をじっくりと育てるといった初年次教育的な要素も併せ持っています。



2年次～3年次

□ 教育実践探究演習

1年次開講の教育体験初年次演習Ⅰ・Ⅱが幼児・児童・生徒理解や学校理解、教職理解を主とした総合的・全般的な体験・観察実習活動を取り入れていたのに対して、2年次および3年次開講の教育実践探究演習A・Bは、それを発展させる形で、教員が遂行する職務の中でも重要な位置を占めている学習指導や生徒指導により焦点をあてます。教育実践探究演習は、3年次以降の教育実習に向けて、学問体系に基づいた学修と体験的な学修とを有機的に結び付けることで実践的指導力を磨き、さらに教職キャリアのステップアップを意識していくことをねらいとした授業科目です。

□ 3年次教育実習

宮城教育大学の附属幼稚園・小学校・中学校において2週間の実習を行います（特別支援教育専攻については、履修型によって実習先が異なります）。

講義や演習で培った知識や技能を基に実践を行い、その経験を実習以降の学修に還元していきます。

実習の時期は、6月中旬から9月上旬までの期間です。



4年次

□ 4年次教育実習

協力校（小学校または中学校）において3週間の実習を行います（芸術体育・生活系教育専攻および特別支援教育専攻については、履修型によって実習先が異なります）。

講義や演習、3年次実習で培った知識や技能を基に実践を行い、その経験を踏まえ学部での学びの集大成へと向かいます。

時期はⅠ期が6月スタート、Ⅱ期が10月スタートで、Ⅰ期かⅡ期のどちらかで実習を行います。

□ 教職実践演習

教職実践演習は、大学生活の中で教員としての資質能力が身についたのかどうかを学生自身が振り返る、「学びの軌跡の集大成」としての位置を持つとともに、キャリアステップアップ科目の総まとめとなる科目です。すなわち、学生はこの科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その確かな定着を図ることにより、卒業後の教職生活をより円滑にスタートできるようになることが期待されています。



1年次学校体験(ふるさとインターンシップ)



本学独自の特徴的な取り組みの一つとして、「1年次学校体験(ふるさとインターンシップ)」が挙げられます。1年次学校体験とは、学部1年生が母校の小学校または中学校で1週間程度、学校現場を体験する取り組みです。入学年次という早期に故郷の学校現場に触れることで、教員になるという意識と出身地の教員を目指す意欲を高めることを目的としています。平成29年度に青森県と宮城県において開始し、新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けつつも教育現場の理解を得ながら対象地域を拡大し、現在は東北全県で実施しています。

なお、この取り組みは令和6年度に新設した地域関連科目「地域フィールドワーク研究(東北編/宮城編)」内で実施しています。特に、総合型選抜の地域定着枠で入学した学生は宮城県を除いた東北5県から、学校推薦型選抜の宮城県内定着枠で入学した学生は宮城県内の特定の地域から、希望するいずれかの市町村及び学校を選んで参加することとしています。

●参加した学生の声

■宮城県(芸術体育・生活系教育専攻)

自分は入学時点では漠然と教員になればいいかなと考えていましたが、この1週間で教員や教育のすばらしさに気づき、必ず教員になると思うようになりました。こんなに素晴らしい経験ができるのは教育大学生の特権だと思います。

■岩手県(初等教育専攻)

訪問先へ電話をかける時からずっと、不安でいっぱいでした。しかし、今となっては、インターンシップの事前準備から終了後までにおける全てのことが、少しずつ今後の自分にとってプラスになるものだったなと感じています。自分を成長させる大きな第一歩になる経験です。

■宮城県(特別支援教育専攻)

1年生のうちこのような体験ができることは滅多にありません。自分にとって将来を考えるきっかけにもなりましたし、今後の自信にも繋がりました。参加してとても良かったと思っています。

■福島県(初等教育専攻)

児童生徒として過ごした母校でのインターンシップを未熟ながら先生という立場で経験して、小学校の先生になりたいという思いが強くなりましたし、地元に戻って自分の県で教員採用試験を受けたいと改めて考えるようになりました。

ボランティア活動

本学では、様々なボランティア活動に参加する学生の支援も行っています。特に学校でのボランティア活動は、参加した学生にとって教員としての目線を持って学校現場を体験できる貴重な機会となります。

令和5年度においては、延べ291人の学生が学校ボランティアに参加しました。

各教育委員会や幼・小・中・高・特別支援学校からの学生ボランティア募集により、学校現場を体験できる機会を豊富に設けています。また、学校現場での経験が豊富なボランティアコーディネーターに相談をすることで、自分に合うボランティア活動に参加することや、十分に準備をした上でボランティア活動に臨むことができます。また、ボランティア活動に参加した後のボランティアコーディネーターによる個別フォローアップ面談、学校ボランティア参加者や興味関心がある学生が集まって月に1回程実施するボランティアディスカッションなど、ボランティア活動で得た経験をさらに深い学びにつなげる機会も充実しています。特にボランティアディスカッションは、学生たちがボランティアコーディネーターの指導の下、学校での様々な経験を互いに共有しながら教師の役割や児童生徒の様子について考察することで、教職における実践的な学びを得ることができる機会となっています。



ボランティアディスカッションの様子

令和5年度実績

□ 主な活動内容

- 小・中学校における授業中の指導補助
- 中学校における部活動指導補助
- 特別支援学校におけるクラス運営補助
- 長期休業中の学習支援

など

□ 主な派遣先

- 本学附属学校園
- 宮城県・仙台市内の各公立小・中学校
- 青森県、山形県、福島県の公立小・中学校
- 宮城県、栗原市、岩沼市、柴田町、大郷町、大和町各教育委員会主催事業

など

□ 参加した学生の声

- ボランティア活動を通して、児童や現場の実態を経験することができた。特に、特別な配慮が必要な児童と関わったときには、自分が教員になったときにどのような対応ができるのか考える良いきっかけになった。
- 教育実習よりもより客観的に子どもたちや先生方の様子を見ることができて、とても勉強になった。

震災学習・学校防災の教育研修



311ゼミナールの活動



311被災地視察研修の様子

本学は2019年度に防災教育研修機構(一般名称・311いのちを守る教育研修機構)を開設し、東日本大震災を起点にした防災教育の取り組みを推進しています。学生向けに震災に深く向き合う機会を提供する場として「311ゼミナール」を運営しているほか、全国の教職員を対象に学校被災の現場を視察して教訓を学び合う「311被災地視察研修」を年2回定期開催し、自分のいのちと隣り合う人たちのいのちを守り合う防災教育の発信に努めています。

また、防災教育の指導力を身に付けた学生の修学状況を証明する制度として、本学独自に「学校防災安全マイスター」の認定制度を設けています。

●311ゼミ生からのメッセージ



一瀬 辰之介さん(4年)

私は当時、小学校2年生で被災しました。震災当時の記憶はありますが、自分自身や家族についてのみで世間や自分の地域以外については覚えていませんでした。そこで、当時の様子を知りたいと思い311ゼミに参加しました。このゼミに入り私は避難所の運営について学んだり、能登半島地震のボランティアに参加しました。この貴重な経験を自分だけで終わりにせず、将来教える子どもたちにも伝えていきたいと思っています。



高橋 輝良々さん(3年)

311ゼミに所属し、私は東日本大震災から12年経って初めて自分の被災経験とその想いを振り返ることができました。あの日のことを語る勇気もてたのは、活動を通して命を守ることに真剣に向き合っている先生や仲間、今も被災地で語り繋いでいる方々に出会えたからです。災害から自分の命と守りたい人たちの命を必ず守ることができるような子どもを育てたい、この願いをもつ私にとってこのゼミは本当に大切な場所です。



小原 梨紗さん(2年)

私は宮城教育大学の面接で「311ゼミナールに入りたいです」と言っただけで、入学前から311ゼミで活動したいと思っていました。今までは「守られる立場」にいたのが、教員になった際には保護者の方から預かった大切な子どもたちの命を「守る立場」となります。実際に現地を訪れて震災遺構を見たり、被災した方のお話を聞いたりしてみたいと思ったことが311ゼミに入ることを決めました。活動では能登半島地震の視察に行ったりなど充実した貴重な経験をさせていただいています。

震災学習・学校防災の教育研修
海外留学について

海外留学について

1. 海外留学について

学生時代に海外で学ぶメリットは、留学先の国・大学で知識や語学力が得られるというだけではありません。その国の学生・教員だけでなく、世界中から集まる様々な文化的背景を持つ留学生たちとの異文化交流や異国の地で学業と生活を両立させていく胆力が求められ、国内での生活とは違った貴重な経験が得られることでしょうか。宮城教育大学には、海外留学の経験を生かして第一線で活躍している先輩がたくさんいます。海外に留学することも大学生活の選択肢の一つとして考えてみてはいかがでしょうか。

2. 長期留学(交換留学)

本学では、下記の大学と交流協定を締結しており、それぞれ若干名の本学学生を本学の推薦により交換留学生として派遣することが可能です。留学期間は半年または1年以内で、候補者となるためには本学の選考手続きを経ることが必要です。留学する学生は、「留学」または「休学」のどちらかを選択します。

国際交流協定校	1 ダーラナ大学	2 スウェーデン・ファールン	4 大邱教育大学校	5 大韓民国・大邱市	7 ハワイ大学マノア校	8 アメリカ・ハワイ州
	2 ベルギー・外人大学	3 イタリア・ペルージャ	5 中華大学	6 台湾・新竹市	8 セントラル・クイーンズランド(CQ)大学	9 オーストラリア・ロックハンプトン
	3 東北師範大学	中国・長春市	6 国立高雄大学	台湾・高雄市	9 デラウェア州立大学	アメリカ・ドーバー

3. 短期留学

夏または春の長期休暇を利用して、オーストラリア、アメリカ、台湾、韓国などで2週間程度研修を行うことができる授業(海外総合演習)などがあります。(※プログラムは、年度によって変更になる場合があります)

5. 日本語パートナーズ派遣事業

アジアの中学校や高校等で現地の日本語教師と学習者のパートナーとして、およそ1年間日本語教育を支援する事業に参加します。

4. ドーバー研修

岩沼市教育委員会主催「青少年海外派遣事業」の実施に伴い、岩沼市の中学生の引率補助としておよそ3週間アメリカ合衆国デラウェア州ドーバー市を訪問します。中学生の異文化交流活動を支援する意識を持った学生が参加します。

6. その他

本学の留学プログラムに基づかず、学生個人が手続きを行って大学・語学学校等へ長期留学する場合は、「休学」の許可を得て留学することになります。休学の期間は在学期間に算入されません。

留学 Q&A

Q 長期留学しても4年間で卒業できますか?

教員免許の取得に関する単位への互換は認められないことがほとんどです。そのため、留学をすると、卒業が1年遅くなります。海外総合演習のような短期研修の場合は、4年間で卒業することができます。

Q 留学先でかかる費用はいくらぐらいですか?

交換留学の交流協定がある大学へ留学する場合は、授業料については基本的には免除または減免されます。授業料のほか、生活費などが必要です。アジアの大学では年間100万円程度、オーストラリアの大学は200万円程度は準備しておきましょう。また、文部科学省主催の「トビタテ!留学JAPAN」や海外留学支援制度(交換留学)などの奨学金に応募することができます。(年度によって変更になります)

Q TOEFLやIELTSはいつ受ければいいですか?

交換留学の場合、2年次の夏休み～後期に選考を行うため、それまでに正式のスコアを提出することが必要になります。1回目の受験で目標点が取れるとは限らないので、1年次のうちから準備を始めておきましょう。



写真左上:高橋さん

協定校への長期派遣留学 初等教育教員養成課程 英語コミュニケーションコース 高橋 さよ さん(留学時4年次)

留学先:デラウェア州立大学(アメリカ)
留学期間:2023年5月~2023年12月

以前からアメリカ英語圏に長期留学をしたいという思いがあり、コロナの影響もありましたが、ようやく3年生から準備をし、その翌年に約9か月間、デラウェア州立大学へ行くことができました。大学では、主に英作文、英文学、中国語など私が好きな言語系の授業を履修することができ、またダンスクラブにも所属し、同じ趣味の人たちと関わり、楽しく過ごすことができました。この大学は黒人の学生が多いのですが、アフリカ、インド、スコットランド、中国、メキシコなど、様々な場所から来ている人がいました。私はシェアハウスのようなところで、カーナ、カメルーン、インドから来ている留学生と一緒に住んでいて、それぞれの国の料理を食べたり、作り方を教えてもらったりなどしました。また、現地の小・中学校、高校に行き子どもと関わることもできました。もちろんスムーズに行くことばかりではありませんでしたが、日本にいただけでは体験できないことや考え方に触れることができていい経験でした。

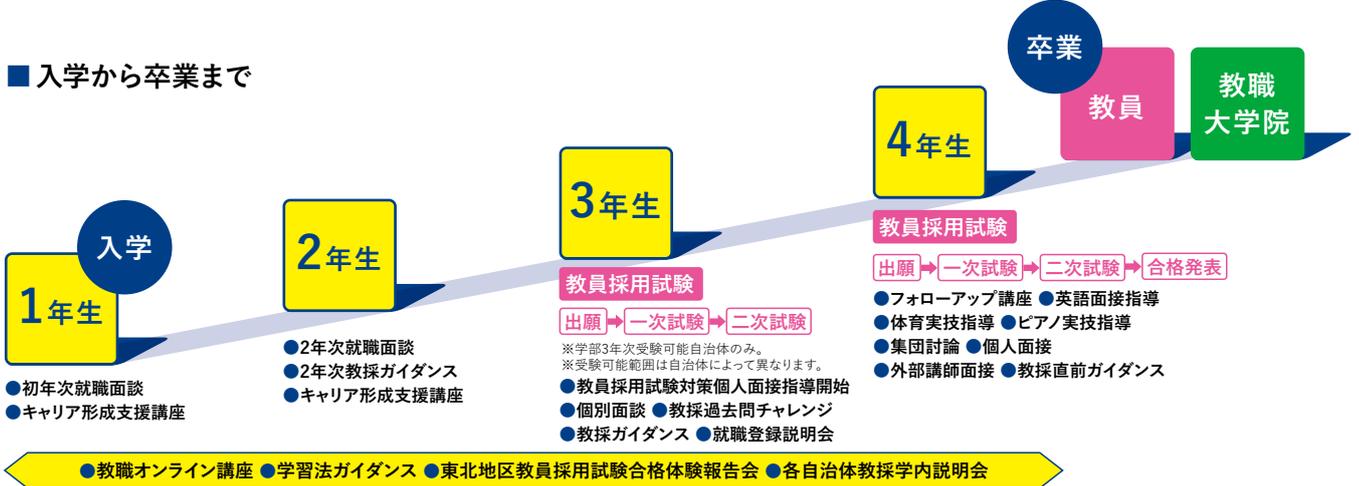
入学時から卒業まで、一人一人の 教員像の確立を支援します。

宮城教育大学は、教員養成に責任を負う大学として、生涯にわたり学び続ける優れた教員を養成します。教員として求められる資質能力を身につけて学校現場で活躍できるよう、次のような形で学生の皆さん一人一人に応じたキャリア形成を入学時から支援しています。



公立・私立学校の元校長、教員など、学校現場での経験が豊富なアドバイザーによるキャリアサポートを受けることができます。

■ 入学から卒業まで

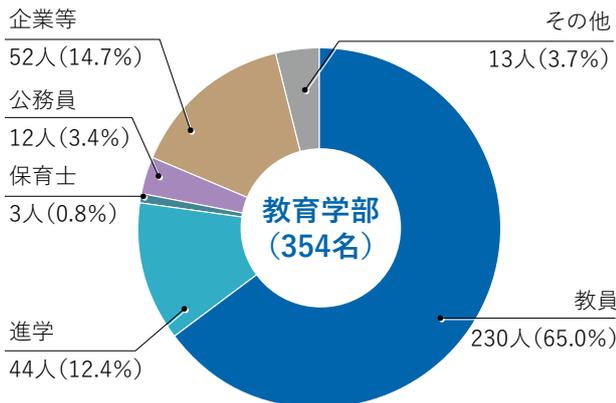


就職状況

■ 令和5年度卒業生の就職状況

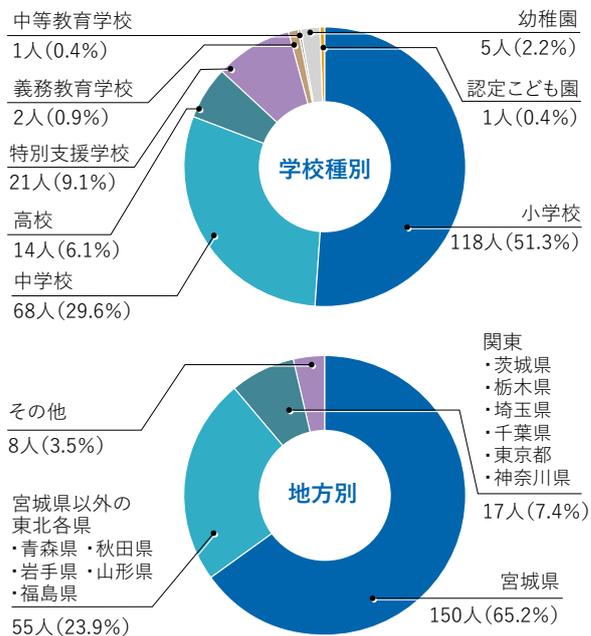
(R6.5.1現在)

令和5年度卒業生354人の就職状況は、下図のとおりです。



■ 教員への就職状況

(学部卒業生のうち、教員になった230人の内訳)



MESSAGE

01

中学校教諭(秋田県)

岩谷 朋樹さん

2023年3月
初等教育教員養成課程
理科コース卒業



「理科の面白さを子どもたちにも伝えたい!」との想いから教職の道を志し、宮城教育大学に入学しました。大学生活4年間を振り返ると、宮教で良かったと思うことばかりでした。

まずは自然に囲まれて過ごすことができる点です。大学は山に囲まれ、たくさんの動植物を見ることができるだけでなく、夜にはたくさんの星を観察することができます。理科の先生を志す人にとっては特に教材研究や研究が捗る環境と言えるでしょう。まさに勉強にうってつけの環境と言えるのではないのでしょうか。

また、たくさんの人との出会いも良い思い出です。コース専攻の友人は同じ志をもって入学しています。良い先生になりたいという志を持った人達と切磋琢磨しながら勉学に励むことができ、お互いに成長できたと感じています。また、良い先生方にも恵まれているのも特徴だと感じています。先生と学生の人数が少ないため、距離が近く、質問や相談をしやすい環境でした。研究や教員採用試験について質問すると快く相談にのってくれるはずですよ。

宮城教育大学は「良い先生」を目指す意欲あるみなさんを全力で応援してくれます。素直な先生方や先輩がみなさんが入学してきてくれることを待っています。宮城教育大学でともに理想の教師像を追い求めましょう!

MESSAGE

02

小学校教諭(多賀城市)

尾崎 颯音さん

2023年3月
初等教育教員養成課程
体育・健康コース卒業



4年間を振り返り、宮教大で学びを深めることができて本当に良かったと感じています。私が考える宮教大の良いところは、同じ志をもった人々とたくさんの関わりを持てる所です。教員養成大学ということで教育学部しか存在せず、大学在籍人数は他大学と比べて多くありません。よって、授業や課外活動、教育実習を通して各コース・専攻の学生と深く関わる機会がとて多く、自分になかった物事の考え方を学べたり、切磋琢磨しあう仲間が増えることで教職に対してのモチベーションをあげることができました。教育において、また教師にとって、多くの人と関わり良い信頼関係を築くことはとても重要なことだと思います。周りにいる学生と友達になって、4年間互いに支え合い、切磋琢磨してみてください。4年間を振り返ったときに、きっと大きな財産になっていると思います。この他にも、教育実習・教員採用試験のサポートが手厚いこと、附属学校の授業を参観したり、先生方と関わりを持てること、教育系のボランティア活動が充実していることなど、良い所はたくさんあります!大学構内も建て替えが進みとても綺麗です。教師を目指す学生にとって、最高の学び舎であり、入学して後悔することはないと思います。宮城教育大学に入学し、充実したキャンパスライフが送れるように頑張ってください!応援しています!

MESSAGE

03

特別支援学校教諭
(宮城県※中高音楽採用)

内山 葵さん

2024年3月
中等教育教員養成課程
音楽教育専攻卒業



「宮城教育大学でよかった!」心からそう感じる充実した4年間でした。好きなことを目一杯やれる、青葉山の自然の中でのびのびと研究ができる、仲間や先生方と深く関われる、そんなところが宮教大の魅力だと思います。私は中学3年生の頃から中高の音楽の先生を目指し、その夢を叶えるために宮教大で学びたいと考えていました。当時の私にとって、大学合格は簡単なものではありませんでした。しかし、先輩方の活気ある姿や温かく接して下さる先生方を見て、私もこの場所で学んでいきたいと強く思い、勉学に励み入学することができました。興味深い講義が多いことや、実習やキャリアサポート、サークル活動等が充実していることなど、自身が成長できる環境が整っていることが実感されました。学年や専攻を超えて関わるができるかけがえのない仲間や、手厚くご指導して下さる先生方だけでなく、キャリアサポートセンターの方や事務の方、生協や食堂の方々などに支えていただき、安心して自分の夢に向かって努力し続けることができたと思います。教員採用試験では2つの自治体を受験し、それぞれの特徴を捉えながら、万全な状態で受験できたのは宮教大の学びがあったからこそだと思います。また、ゼミやアルバイトなど大学生のうちに行ける様々なことにチャレンジし、有意義な時間を過ごすことができました。是非、宮教大で自分自身の可能性を広げ、道を切り開いてみてください。

MESSAGE

04

小学校教諭(仙台市)

平賀 千優さん

2024年3月
初等教育教員養成課程
家庭科コース卒業



私は「先生になる!」という夢を叶えるために、宮教大で学ぶことができて本当に良かったと思います。4年間を振り返り、大切な仲間とたくさん出会うことができました。入学当初はコロナ禍ということもあり、友達ができるかとても不安でした。しかし、卒業を間近に控えた今、大学での思い出は、仲間との笑顔の思い出でいっぱいです。教育実習では「子どもが考えなくなる授業」を作るために、みんなで意見を出し合いました。授業づくりを共にする中で、お互いに大切にしたいことや、教育に対する熱い思いが見える瞬間がたくさんあり、自分自身も大きく成長することができたと思います。教員採用試験では、面接練習や集団討論の対策をして下さるキャリアサポートセンターの先生方に大変お世話になりました。キャリアサポに行く、いつも明るく迎え入れてくれて、勉強のモチベーションをあげることができました。試験当日も先生方のおかげで、適度な緊張感の中で自分らしい回答をすることができました。卒業後は仲間とバラバラになってしまっていますが、次に会ったときに自信をもって「頑張っているよ!」と言えるように、それぞれの場所で成長し続けていきたいです。最後になりますが、4年間は、充実していればしているほどあっという間です。自分から学びに行く姿勢を忘れず、ちょっとの勇気をもって色々なことにチャレンジしてみてください。皆さんの大学生活が充実したものになりますように!

Campus Life

サークルや様々な活動を通して、
楽しく充実した
キャンパスライフを送ろう！

サークル活動



鈴木 紀伊さん

初等教育教員養成課程
体育・健康コース/4年
(東北学院高等学校卒業)



男子
サッカー部

私たちは「良い選手、良いチーム、良い指導者」というチーム目標を掲げ、日々の活動に取り組んでいます。4年間の大学生活、仲間たちと汗を流し、かけがえない経験と思い出を共にしましょう！



ゴールが決まりみんなで喜ぶ最高の瞬間

サークル活動



佐藤 奏さん

学校教育教員養成課程
中等教育専攻
言語・社会系教育コース(社会)/3年
(岩手県立一関第一高等学校卒業)



演劇部

私たちは、定期公演の公演を目標として日々活動しています。表現力や想像力、臨場感など、演劇を通じて得られるスキルや体験は多岐にわたります。私たちと一緒に舞台の沼にハマってみませんか？



稽古風景

サークル活動



千田 杏咲さん

学校教育教員養成課程
特別支援教育専攻
聴覚・言語障害教育コース/2年
(富山県立魚津高等学校卒業)



手話サークル
HANDS

私たちは手話でコミュニケーションを取れるようになることを目標に、学生同士で手話を教えあったり、手話を使ったゲームをしたりして楽しく活動しています。手話を通して自分の世界を広げ、私たちと充実した学生生活を送りましょう！



みんなで手話を勉強中

一 覧 サークル

スポーツ系

- 弓道部
- 剣道部
- 男子サッカー部
- 水泳部
- 男子ソフトボール部
- 女子ソフトボール部
- 体操部
- 卓球部
- 硬式庭球部
- ソフトテニス部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- 男子バレーボール部
- 女子バレーボール部
- バドミントン部
- 男子ハンドボール部

- 女子ハンドボール部
- 硬式野球部
- 軟式野球部
- 陸上競技部
- 空手道部
- サッカー同好会
- バスケットボールサークル
- CONNECTION Crew

- Prairie shuttle
- B-all
- フライングディスクサークル
- 柔道部
- ウィップルボールサークル

サークル活動



平塚 静奈さん

初等教育教員養成課程
数学コース/4年
(秋田県立秋田南高等学校卒業)



女子ソフト
ボール部

私たち女子ソフトボール部は、和気あいあいと部員みんなで楽しく活動しています。みんなそれぞれ大学生活でやりたいことと両立しながら、協力して頑張っています。私たちと一緒に最高の思い出を作りましょう!



2022年度 春季大会

サークル活動



高橋 優衣さん

初等教育教員養成課程
音楽コース/4年
(青森県立青森高等学校卒業)



宮城教育大学
交響楽団

宮教オケは年2回の定期演奏会を中心に、日々の練習に励んでいます。訪問演奏など様々な場所での演奏や、お花見や芋煮会、合宿などのイベントもいっぱいです。私たちと、そして音楽と共に、充実した4年間を送りましょう!!



ある日の合奏風景

ボランティア活動



初山 千笑実さん

特別支援教育教員養成課程
聴覚・言語障害教育コース/4年
(会津北嶺高等学校卒業)



情報保障
ボランティア

私たちは講義時の聞き取りに困難を感じる聴覚しょうがい学生が他の学生と同じように講義が受けられるよう、講義内の音声情報をすべて文字に起こすボランティア活動を行っています。空きコマを有効に活用し一緒に活動をしてみませんか?



情報保障(パソコンノートテイク)時の様子

学生自治会活動



佐藤 慎一朗さん

中等教育教員養成課程
英語教育専攻/4年
(宮城県仙台第三高等学校卒業)



宮城教育大学
学生自治会

私たちは、宮教生のみなさんがより良い大学生活を送ることができることを目指して活動しています。例年4月初めには、宮城教育大学生協学生委員さんの協力をいただいて、新入生に向けたオリエンテーション企画を開催しています。この宮教大と一緒に素敵な大学生活を送りましょう!



新入生向けオリエンテーション行事

文化系

- 演劇部
- 混声合唱団
- 天文同好会
- 吹奏楽部
- フォークソング研究会
- マンドリン部
- 民族芸能研究会びっつき

- 美術サークル
- 自然フィールドワーク研究会YAMOI
- アカペラサークル奏
- 交響楽団
- Science Support SPINOZA
- BIBLion

- 授業技術研究会
- 書道サークル 彩墨
- キャンプサークル△
- 放送サークル
- 英会話サークル
- 教材研究サークル MICS
- ジャズ研究会

- 芸術鑑賞・文化体験サークル BunBun

ボランティア系

- 入院児の教育を考える会ありんこ
- EST
- 手話サークルHANDS
- カンガルー体操クラブ

Student Life

学生の生活をご紹介します。
自分に合う生活スタイルを見つけて
充実した生活を！

新学生寮について

男子寮・女子寮が廃止され、令和6年度から
キャンパス内に新学生寮が設置されました。

NEW!



ユニット内の
オープンリビング
キッチン。
料理、食事、ユニット内
での交流ができます。



詳細はホームページをご覧ください。→

生活費について

あくまで一例ですが…約30,000円/月の差になります!!

寮暮らし

収入	アルバイト 40,000円	奨学金 50,000円	
支出	家賃+ネット代 31,650円	食費 30,000円	娯楽費 20,000円

光熱水道代 約8,000円

一人暮らし

収入	アルバイト 30,000円	奨学金 50,000円	仕送り 40,000円
支出	家賃+ネット代 約53,650円	食費 30,000円	娯楽費 20,000円

光熱水道代 約10,000円
通学費 約6,350円

寮暮らし



菊池 ももさん

初等教育専攻
未来づくり教育創生コース/2年
(聖霊女子短期大学
付属高等学校卒業)

- [サークル] 民族芸能研究会 びつきい
- [アルバイト] 児童自立支援施設の嘱託職員
- [取得予定免許] 小学校1種 / 中学校数学2種 / 学校図書館司書教諭

ある日の私

大学内に寮があるので
ぎりぎりに起きて
しまっても大丈夫!



寮に戻って
作ることが
多いです



週2回踊りや
太鼓の練習をして、
たまに現地のお祭りに
参加したりしています!



集中力を
切らさないように..
頑張ってます、

課題を
終わらせるために
奮闘してます!



寮生のみんなど
おしゃべりしながら
自炊したり
課題をしたり

宮教大の魅力

1年次から学校現場で見学や体験をする機会があるなど、たくさんの刺激を受け、学び、成長し、それを将来の職業に生かすことのできる大学です。

コース・専攻の魅力

2年次でコースが分かれるため、小学校免許取得を目指しながらも、自分の学びたい分野について詳しく学んでいくことができます。

寮生活

勉強に行き詰まったとき、悩みがあるとき、暇なとき、どんな時でも寮に帰れば誰かがいて、話をしたり一緒にご飯を食べたりでき、困ったときは助け合える。こんなに心強いことはないです!

休日の過ごし方

バイトや課題をしていることが多いです。時間のある時は、寮の人たちや友達と過ごしています。

宮教大では、
教員免許を取れるだけでなく、ボランティア活動やサークル・部活などの様々な活動を行ったり、留学をしたり、多種多様な人と交流したりと様々なことに挑戦し経験を積み上げることのできる機会がたくさんあります。
宮教大と一緒に夢を叶えませんか?!



実家暮らし



香川 覚彦さん

中等教員教育養成課程
理科教育専攻/4年
(宮城県仙台第二高等学校卒業)

- [サークル] 陸上競技部/宮城教育大学交響楽団/大学祭実行委員会
- [アルバイト] 家庭教師/イベント会社
- [取得予定免許] 小学校1種/中学校理科1種/高校理科1種

宮教大の魅力

規模が小さく、それぞれの教科を専門とする学生と交流できるので、自分の見える世界や考え方が広がります。

コース・専攻の魅力

日常に転がる「なぜ?」に迫りながら、段階的に学ぶことで、「分かりやすく教える」勉強につながっているなど感じています。

実家暮らし

家からは遠いですが、食に困ることはありません!ちょっとお金に困ったら助けてくれます!

休日の過ごし方

陸上の練習後、大学祭の打ち合わせをし、オケの練習をして、帰りに家庭教師に行くなんて日もありました!

ある日の私



たくさんの機会が与えられているからこそ、自分から積極的に門を叩けば、様々なことに挑戦することができるのが宮教大の魅力です。色々な才能と考え方を持った人と交流することができ、自分の世界が広がります。充実した大学生活を宮教大で一緒に過ごしませんか?



一人暮らし



田村 明香里さん

初等教育教員養成課程
子ども文化コース/4年
(茨城高等学校卒業)

- [サークル] 自然フィールドワーク研究会 YAMOI
- [アルバイト] 個別指導塾講師
- [取得予定免許] 小学校1種/中学校英語1種/中学校国語2種

宮教大の魅力

宮教大では、講義で模擬授業を行って実践力を身につけ、3年次では附属校に教育実習に行きます。4年次のキャリアサポートも充実しています。

コース・専攻の魅力

絵本や紙芝居などの児童文学研究や、国語の授業作りに向けた教材研究を行っています。少人数なので、先生に1対1で指導をお願いすることもできます!

一人暮らし

最初は1人で家事をしたり、お金の管理をしたり、やるべきことが多く大変でした。続けていけば慣れてくるので、良い自立経験になります。

休日の過ごし方

朝からサークルの動物たちのお世話をし、講義課題を消化し、塾のアルバイトに行くことが多いです。アルバイトがない日は、家でゆっくりしたり、友達と遊んだりしています。

ある日の私



大学生活で与えられる時間は、4年間みんな同じです。だからこそ、失敗を恐れず、何度も挑戦することができるのが、大学生活の最大の魅力だと思います。何度失敗しても、諦めず挑戦し続けることで、経験も粘り強さも身につきます。みなさんが、宮教大で過ごす4年間で、より充実した時間となりますように!



1 総合型選抜 45名

芸術体育・生活系教育専攻のみで実施します。

中学校の音楽、美術、保健体育、技術、家庭のいずれかの教員免許に加え、小学校または中学校の他の教科(国語、英語、数学のいずれか1つ)の免許を取得することを卒業要件とします。

募集単位	地域定着枠 8名	一般枠 37名
出願資格	令和7年3月に高等学校(特別支援学校高等部を含む)もしくは中等教育学校を卒業見込みの者、または卒業した者(既卒者)とします。	
出願要件	<ol style="list-style-type: none"> 1 教員になろうとする強い意志を持つ者であること 2 高等学校等調査書の全体の学習成績の状況(全体の評定平均値)が3.5以上であること 3 本学入学後、意欲的に研鑽に努め得る者であること 4 合格した場合は、本学への入学が確約できる者であること 5 卒業後は、宮城県以外の地域において教職に就くことを強く希望する者であること 	<ol style="list-style-type: none"> 1 教員になろうとする強い意志を持つ者であること 2 高等学校等調査書の全体の学習成績の状況(全体の評定平均値)が3.5以上であること 3 本学入学後、意欲的に研鑽に努め得る者であること 4 合格した場合は、本学への入学が確約できる者であること 5 令和7年度の大学入学共通テストを受験する者であること
選抜方法	芸術体育・生活系教育専攻の総合型選抜においては、各コースとも教科単位で実施しますので、出願時に受験する教科を指定して出願書類を提出することになります。 入学者選抜は、第1次選考、第2次選考を実施します。 第1次選考は、志願者が多い場合に実施し、出願書類により審査します。 第1次選考で合格した者に、第2次選考を行います。第2次選考は各コース以下のとおりです。 ○芸術・体育系教育コース 個人面接、実技 ○生活系教育コース 個人面接 第2次選考の個人面接は、受験者が事前に準備した資料を基にプレゼンテーション等を行い、個人面接を実施します。 ※<一般枠>選抜においては、第2次選考で合格した者には、大学入学共通テストを課します	
合否判定の方法	第2次選考での合格をもって最終的な合格とします。地域定着枠で志願した者が不合格だった場合、一般枠での合否判定に含めて、再度合否判定を行います。	第2次選考の合格者には、大学入学共通テストを課し、 475点以上であれば合格!

※総合型選抜においては、コース内の教科単位で選考を実施します

※地域定着枠による入学者は、原則として「ふるさとインターンシップ」に参加していただきます。(詳細はP17参照)

2 学校推薦型選抜 56名

初等教育専攻、特別支援教育専攻で実施します。

募集単位	宮城県内定着枠 10名	一般枠 46名
推薦要件	<ol style="list-style-type: none"> 1 教員になろうとする強い意志を持つ者であること 2 高等学校等調査書の全体の学習成績の状況(全体の評定平均値)が4.0以上の卒業見込みの者であること 3 本学入学後、意欲的に研鑽に努め得る者であること 4 合格した場合は、本学への入学が確約できる者であること 5 卒業後は、宮城県内の特定の地域*において教職に就くことを強く希望する者であること <p>※他県の高校に在学中であるが、本学を卒業した後、宮城県内の特定の地域で小学校教員として就職することを強く希望する場合も対象となります</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 教員になろうとする強い意志を持つ者であること 2 高等学校等調査書の全体の学習成績の状況(全体の評定平均値)が4.0以上の卒業見込みの者であること 3 本学入学後、意欲的に研鑽に努め得る者であること 4 合格した場合は、本学への入学が確約できる者であること
選抜方法	初等教育専攻のみ で募集します。 一般枠選抜同様、専攻別課題、集団面接、個人面接を課します。 専攻別課題では、課題の理解力、内容展開力、思考力、文章表現力を評価します。 集団面接では、課題の理解力、内容展開力、思考力、協調性を評価します。 個人面接では、宮城県内の特定の地域*で小学校教員になろうとする意志、質問の理解力、自己表現力、具体性、適性を評価します。出願時に提出する学校推薦型選抜レポートを参考資料として利用します。	初等教育専攻、特別支援教育専攻で実施します。 専攻別課題、集団面接、個人面接を課します。 専攻別課題では、課題の理解力、内容展開力、思考力、文章表現力を評価します。 集団面接では、課題の理解力、内容展開力、思考力、協調性を評価します。 個人面接では、教員になろうとする意志、質問の理解力、自己表現力、具体性、適性を評価します。出願時に提出する学校推薦型選抜レポートを参考資料として利用します。

※特定の地域…大崎市、栗原市、加美町、色麻町、涌谷町、美里町、石巻市、登米市、東松島市、女川町、気仙沼市、南三陸町

※宮城県内定着枠による入学者は、原則として「ふるさとインターンシップ」に参加していただきます。(詳細はP17参照)

3 一般選抜 244名

前期日程
203名

初等教育専攻、中等教育専攻、特別支援教育専攻で実施します。大学入学共通テストを課し、個別学力検査等の試験科目として、「国語」及び「教育小論文」を全員に課し、併せて、文系型の受験生には「英語」を、理系型の受験生には「数学」を課します。「教育小論文」は、教育を論ずることで、思考力・判断力・表現力を測り、教育養成大学で学ぶ上で必要な教員志向性を評価します。

※中等教育専攻においてはコース内の教科単位で選考を実施します

後期日程
41名

初等教育専攻のみで実施します。大学入学共通テストを課し、個別学力検査等の試験科目として「個人面接」を課します。「個人面接」では、出願書類として提出する「教員志望理由書」と合わせ、教員志向性を確認するとともに、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価します。

4 まとめ

令和7年度入試(令和6年度実施)における募集人員、選考方法は以下のとおりです。

学校教育教員養成課程(345名)

専攻	コース等	総合型選抜 45名		学校推薦型選抜 56名		一般選抜 244名		
		地域定着枠 8名	一般枠 37名	宮城県内 定着枠 10名	一般枠 46名	前期日程 203名	後期日程 41名	
初等教育専攻 210名	幼年期教育創生コース			10名	38名	[文系型] 85名 大学入学 共通テスト 教育小論文 国語 英語	[理系型] 36名 大学入学 共通テスト 教育小論文 国語 数学	[文系型] [理系型] 大学入学 共通テスト 教員志望 理由書 個人面接
	未来づくり教育創生コース							
	人文・社会系教育創生コース							
	理数・自然系教育創生コース							
中等教育専攻 60名	言語・社会系教育コース 国語 9名 社会 8名 英語 8名					[文系型] 大学入学共通テスト 教育小論文 国語 英語		
	理数系教育コース 数学 18名 理科 17名					[理系型] 大学入学共通テスト 教育小論文 国語 数学		
教育専攻 生活系 芸術系 45名 ()は、 一般枠の 目安	芸術・体育系教育コース 音楽 (7名) 美術 (5名) 保健体育 (11名)	個人面接 実技 総合型選抜 レポート	個人面接 実技 総合型選抜 レポート					
	生活系教育コース 技術 (9名) 家庭科 (5名)	個人面接 総合型選抜 レポート	個人面接 総合型選抜 レポート					
特別支援 教育専攻 30名	視覚障害教育コース				8名	[文系型] 11名 大学入学 共通テスト 教育小論文 国語 英語	[理系型] 11名 大学入学 共通テスト 教育小論文 国語 数学	
	聴覚・言語障害教育コース							
	発達障害教育コース							
	健康・運動障害教育コース							

注) 変更する場合がありますので各選抜にかかる学生募集要項を必ず確認してください。

令和6年度 入学者選抜実施状況

■ 一般選抜

専攻	選考区分	前期日程						後期日程						合計	
		人員募集	志願者	倍率	志願者	受験者	合格者	入学者	人員募集	志願者	倍率	志願者	受験者	合格者	入学者
初等教育	文系型	85	154	1.8	148	94	91	41	447	10.9	125	53	47	162	179
	理系型	36	74	2.1	69	41	41								
小計		121	228	1.9	217	135	132	41	447	10.9	125	53	47	162	179
中等教育	国語	9	23	2.6	22	11	11								
	社会	8	15	1.9	15	9	8								
	英語	8	15	1.9	14	9	8								
	数学	18	31	1.7	31	20	20								
	理科	17	29	1.7	28	20	20								
小計		60	113	1.9	110	69	67							60	67
特別支援教育	文系型	11	51	4.6	49	13	10								
	理系型	11	50	4.5	45	13	13								
小計		22	101	4.6	94	26	23							22	23
合計		203	442	2.2	421	230	222	41	447	10.9	125	53	47	244	269

■ 総合型選抜

専攻	選考区分	地域定着枠							一般枠									
		人員募集	志願者	倍率	志願者	合格者	1次選考	2次選考	合格者	入学者	人員募集	志願者	倍率	志願者	合格者	1次選考	2次選考	合格者
芸術体育・生活系教育	音楽	8	9	4.3			9	2	2	7	9	1.3		9	9	7	7	
	美術		4				4	2	2	5	2	0.4		2	4	3	3	
	保健体育		11				11	2	2	11	9	0.8		9	15	8	8	
	技術		4				4	0	0	9	3	0.3		3	7	2	2	
	家庭科		6				6	2	2	5	5	1.0		5	7	4	4	
合計		8	34	4.3		34	8	8	37	28	0.8		28	42	24	24		

※一般枠2次選考の合格者数には、地域定着枠不合格のスライド対象者を含む。

■ 学校推薦型選抜

専攻	選考区分	人員募集	志願者	倍率	志願者	受験者	合格者	入学者
初等教育	県内定着枠	10	28	2.8	28	10	10	10
	一般枠	38	100	2.6	100	39	39	39
小計		48	128	2.7	128	49	49	49
特別支援教育	一般枠	8	17	2.1	17	8	8	8
小計		8	17	2.1	17	8	8	8
合計		56	145	2.6	145	57	57	57

■ 選抜実施状況総表

専攻	入試区分	募集人員	入学者
初等教育	学校推薦型選抜	48	49
	一般選抜(前期)	121	132
	一般選抜(後期)	41	47
小計		210	228
中等教育	一般選抜(前期)	60	67
芸術体育・生活系教育	総合型選抜	45	32
特別支援教育	学校推薦型選抜	8	8
	一般選抜(前期)	22	23
小計		30	31
合計		345	358

■ 入学者の地域別人数

出身地	人数	出身地	人数
北海道	3	四国	0
東北	318	九州・沖縄	2
関東	20	外国	0
中部	13	高卒程度認定	1
近畿	0	合計	358
中国	1		

■ 東北の県別分類

出身地	人数
宮城県	177
福島県	51
岩手県	24
山形県	30
青森県	21
秋田県	15
合計	318

入試に関する問い合わせ先

宮城教育大学入試課入試実施係

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉149番地

[tel] 022-214-3334

<https://www.miyakyo-u.ac.jp>

[e-mail]

nyushi@grp.miyakyo-u.ac.jp

資料請求はこちらからどうぞ→



納入経費

大学納付金

入学料 282,000円
授業料 535,800円(年額)

在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。なお、上記納付金額は予定額です。

その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料
3,300円(保険期間4年)
 学研災付帯賠償責任保険料
1,360円(保険期間4年)

学費の減免

選考により、次の制度の適用を受けることができます。

- 1 入学料の免除または一部が減額される制度、徴収が猶予される制度**
- 2 授業料の免除または一部が減額される制度、月割分納及び徴収が猶予される制度**

- 令和2年4月から高等教育段階の修学支援新制度が始まりました。新制度により、下記日本学生支援機構給付奨学生となる学生は、支援区分に応じて入学料及び授業料が減免になります。
- 令和2年度以降に入学した学部学生で、上記新制度の対象外とされ、教員になろうとする意志が強く、成績が特に優秀であり、経済的困窮度が高い学生に対して、本学独自の授業料の一部減額も実施します。

奨学制度

- 日本学生支援機構、地方公共団体、その他の奨学財団からの各種奨学制度があります。
- 日本学生支援機構の奨学金は、優れた学生であって経済的理由により修学に困難がある者に対して貸与又は給付されます。
- 日本学生支援機構の奨学金には、無利子の「第一種奨学金」と利子付き(年3%以内)の「第二種奨学金」、返還義務のない「給付奨学金」の3種類があります。
- 「第一種奨学金」及び「第二種奨学金」は貸与が終了した月の翌月から数えて7か月目から、最長20年以内に貸与を受けた奨学金を月賦、月賦半年賦併用等により返還することとなります。

■ 奨学金の種類及び貸与・給付月額

(令和5年度)

奨学金の種類	貸与・給付月額		備考
	自宅通学	自宅外通学	
第一種奨学金	2万円、3万円、4万5千円 ^{※1} から選択	2万円、3万円、4万円、5万1千円 ^{※1} から選択	無利子
第二種奨学金	2万円から12万円のうちから1万円単位で選択		有利子
入学時特別増額貸与奨学金(一時金)	10万円、20万円、30万円、40万円、50万円から選択		有利子
給付奨学金	29,200円、19,500円、9,800円、7,300円のいずれか ^{※2}	66,700円、44,500円、22,300円、16,700円のいずれか ^{※2}	

※1 申込時における家計支持者の年収が一定額以上の方は、最高月額以外の月額からの選択となります。

※2 世帯の所得金額に基づき、給付額が異なります。

宮城教育大学教職大学院

プラス2年の学修で更なる高みへ

令和3年度より、宮城教育大学大学院教育学研究科は、

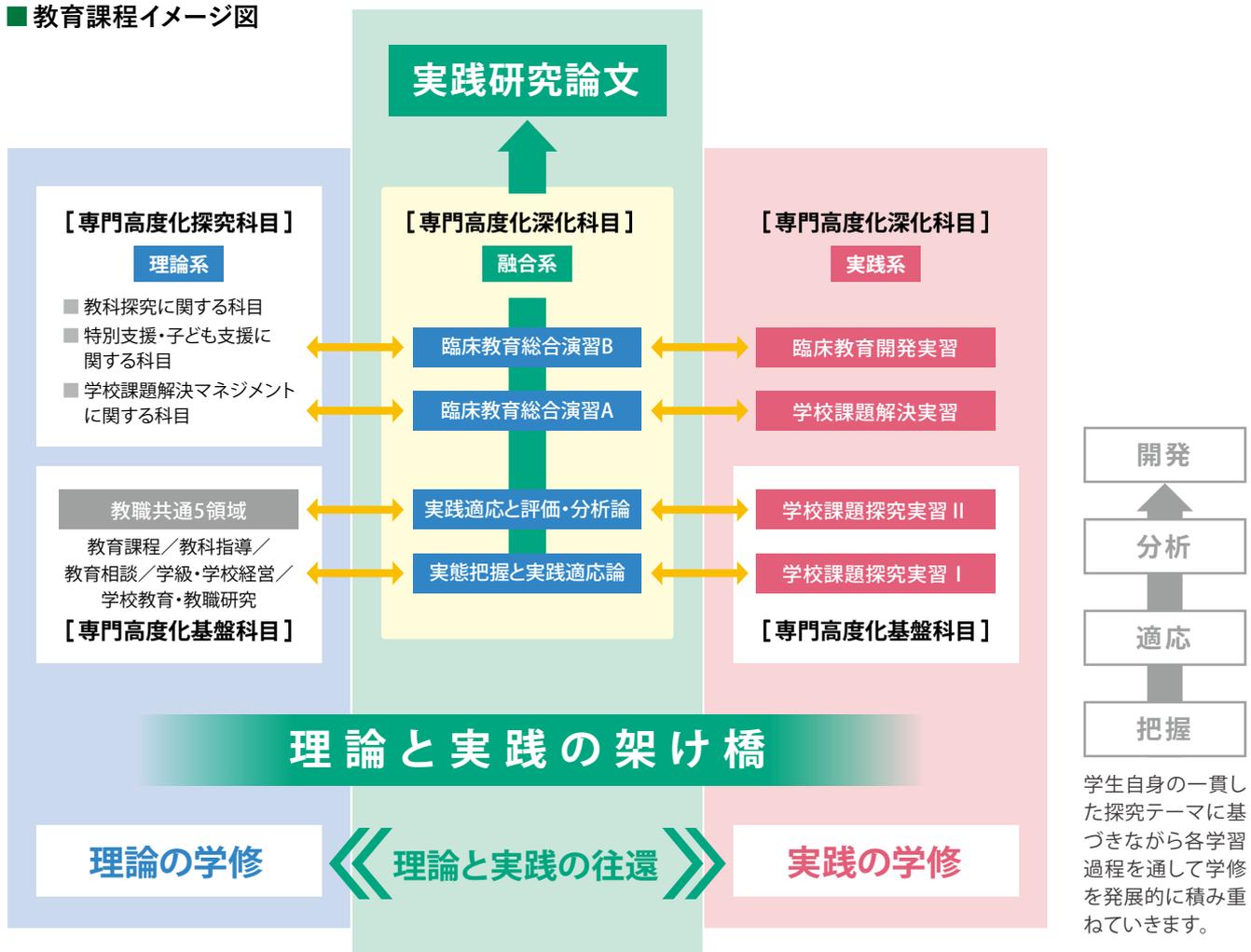
これまでの修士課程における高度専門職業人としての教員養成機能を専門職学位課程（教職大学院）に一本化し、教職大学院における教科領域の教育に関する学修を拡充して「理論と実践の往還」を真に実質化して、高度専門職業人としての教師を育成するための改組を行いました。

ストレートマスター学生（学部卒業生）だけでなく、現職教員学生が共に切磋琢磨しながら、更に自身を磨き、現在の学校現場に求められる資質・能力をより高める理想的な環境です。

高度専門職業人としての教師の専門性の深化（高度化）の実現

- 院生それぞれが、一貫した探究テーマを設定
- 「理論と実践の往還」を基本とする「把握」、「適応」、「分析」、「開発」の段階的学修

■ 教育課程イメージ図



より高度な専門性と教育の発展に貢献できる人材を育む

魅力溢れる多彩なプログラム

教科探究プログラム

各教科の背景となる学問知識を踏まえて「教科内容学」の研究方法を習得し、高度な教材研究力と教材開発力を身につけるとともに、子どもの認識や発達の実態に即して、授業を不断に改善していくことのできる教科指導力を高めることを目的とします。

特別支援・子ども支援プログラム

変化が激しい社会で学習や発達に困難を抱える子どもに対応するために、特別なニーズのある子どものケーススタディによる発達・学習支援法の開発を行う力や、ICTを駆使した教育を開発しながら子どもを支援していく力を身につけるために、子ども理解・支援に関する実践的な資質能力を養うことを目的とします。

学校課題解決マネジメントプログラム

学校という組織をマネジメントしていく「学校を支える力」として、地域の教育ニーズを踏まえつつ学校が直面している課題を発見し、教職員間で共有し、協働して解決できるマネジメント力を身につけるため、学校や地域の抱える教育課題について具体的に探究していきます。

※専門高度化探究科目において、多様な選択科目の中から各履修プログラムの特色に応じた授業科目を選択

主体的・対話的で

深い学びを促進する学習環境

学生と教員を結びつける共用スペースや、教室を模した授業開発スペースなど、学生の学び合い、力を高め合う環境を整備。



● 在学院生からのメッセージ



教職大学院 での学び

宮城教育大学 出身
教職大学院2年(ストレートマスター学生)

蓮沼 杏珠 さん

私は、学部生時代に特別支援教育について学び、学部4年次には特別支援学校で実習に取り組みました。生徒一人一人がもつ教育的ニーズの把握とそれを踏まえた授業づくりでは、学習者である子どもと子どもを取り巻く環境の実態把握と見立て、それらを踏まえた適切な配慮や支援の検討、選択が求められることが分かりました。しかし、実習を通して、その力がまだ十分備わっていないことを痛感し、子ども支援・特別支援領域の知見を一層深め、実践力を身につけたいと考え、教職大学院への進学を決めました。

教職大学院の講義は、一つの授業を複数人の先生が担当されるため、それぞれがご専門にしている分野を切り口に、多様な視点で教育に関する事柄を考えることができます。また、学部卒業生であるストレートマスターだけでなく、現場からいらしている現職の先生方と共に学ぶことで、現場視点でのお話やご経験等もたくさん聞くこともできます。

教職大学院の実習では、学部時代の実習とは異なり、年間を通して実習に行きます。学校の先生方や子どもたちの様子を長期的に観察することによって見えてくるものがたくさんあり、発見と探求の毎日を過ごしています。

理論と実践の往還の中に身をおいて、校種や専攻を越えた様々な立場の方々との学び合い、思う存分研究に打ち込むことのできる環境が整っているところが宮城教育大学教職大学院の魅力であると感じます。

みなさんが充実した大学院生活を送られますよう、心から願っております。

● 修了生からのメッセージ



教職大学院 の魅力

令和5年度修了生(ストレートマスター学生)
仙台市立上杉山通小学校 教諭

間 皓士 さん

私は、学部時代の教育実習とボランティア活動の経験を通して、教員となる決意を固めました。しかし、現場に出ると同時に教科指導のみならず、教育相談や学級経営をはじめとする様々な資質・能力が求められることも実感しました。そこで、教職大学院における高度な講義で知見を広げるとともに、魅力ある実習を通して実践力を高めたいと考え、入学を志望しました。

教職大学院の魅力は大きく二点あります。

一つ目は、理論と実践の往還ができる点です。「理論と実践の往還」がテーマとして掲げられた教職大学院では、高度な講義と実習の機会が用意されています。理論の学修では、現場で求められる5領域の理論を基盤に、複数の担当教員から深く学ぶことができます。また、実践の学修では、附属学校園や実習拠点校において、研究テーマに即した授業実践、研究授業の参観、学級経営の見学等で教育現場を肌で感じることができます。このように、高度な講義と実習の機会が得られるのが教職大学院のカリキュラムの魅力です。

二つ目は、仲間と学び合える点です。教職大学院には様々な大学からの進学者がいるため、校種・専攻を越えた仲間と共に学び合うことができます。さらに、学部卒のストレートマスターだけでなく、現場から来られた現職教員と同期になります。同じ講義やゼミで交流したり、自主的に現場での貴重なお話を聞いたりすることを通して、教員への志を新たにすることもできます。教員から学生の一方だけでなく、学生同士で双方向に学び合えるのが教職大学院の環境の魅力です。

皆さんが有意義な大学院生活を送れますよう心から願っています。

キャンパスマップ Campus Map

青葉山地区

Aobayama Area

01 1号館



02 2号館 (講義棟)

(入試課、教務課、学生課、共創支援課、
研究支援・多文化共生推進課、アドミッションオフィス)

■ キャリアサポートセンター (1F)

03 3号館

■ しょうがい学生支援室 (3F)

04 4号館

05 5号館

■ スペース あおば



■ 内田洋行フューチャークラスルーム・ラボ



06 6号館

■ PA Lab.
(Proactive Activity Laboratory)
Supported by Nodoka Support



07 7号館



08 8号館

09 9号館

10 10号館

■ 学生相談室 (1F)

11 音楽棟





16 附属図書館



附属図書館は学修、教育、研究を支えるため、大学の中枢として機能しています。蔵書数は約39万冊に上り、ユニークなものとしては1万4千冊の児童図書や、江戸期から現在までの5万冊以上の教科書、指導書を所蔵しています。開館時間は午前9時から午後8時まで（休業期間中を除く）。土日も午前10時から午後5時まで利用できます。

17 講堂



座席数は604。大学主催の行事ばかりでなく、授業やサークルの発表会、講演会などにも使われています。

18 萩朋会館



大集会室、集会室、国際・地域交流室、交流・談話スペース、大学情報プラザ、同窓会室、食堂、売店があります。

キャンパスマップ

12 美術棟



13 理科学学生実験棟

 **AED** (自動体外式除細動器) 設置場所

14 技術棟



15 管理棟

キャンパスマップ Campus Map

19 青葉セミナーハウス



20 青葉山体験学習室



青葉の森に通じる遊歩道の入口に位置する教育・研究施設です。隣接する青葉山での体験学習など、教育実践研究の拠点などとして活用されています。

学生相談室 (10 10号館1F)



学生相談室は、大学生活の中の様々な問題・悩み・心配事について相談に乗り、解決する手助けをしています。些細な心配事から、学業・人間関係・進路・心理的・精神的健康問題・ジェンダーやセクシュアリティのことなど、相談員が幅広く学生の皆さんの訴えに耳を傾け、一緒に解決を目指します。また、相談を更に深めることを希望した場合の体制も整っています。

しょうがい学生支援室 (03 3号館3F)



専任の職員が常駐し、しょうがいのある学生の修学のために必要なサポートを行っています。サポートの多くは学内のボランティア学生によって行われ、しょうがいの有無を問わず活動の中でお互いの役割を確認し合いながら取り組んでいます。ここでの活動が、卒業後社会に出たときの大きな助けになっています。「多目的ルーム」も併設し、支援室利用学生の休憩室としての利用の他、活動の打合せや交流の場として活用しています。

スポーツ施設

陸上競技場(400m)を始め、体育館、武道場、ダンス室、野球場、テニスコート、弓道場、水泳プール(50m)、表現活動実習棟などが大学構内にあります。

21 陸上競技場

25 表現活動実習棟

22 野球場

26 弓道場

23 体育館

27 テニスコート

24 武道場

28 プール



教育研究施設

29 保健管理センター



保健管理センターは、学生の皆さんの心身の健康を、広い視野から総合的に観察し、増進させ、皆さんが健全な大学生活を送れるよう、健康相談の窓口となっています。専門の医師や看護師が、合理的な指導・助言を行うとともに、けがや病気の応急処置にも応じています。

30 情報活用能力育成機構



機構は、学校における子どもの情報活用能力の育成に係る教育研究や本学の情報化に係る取組を推進することにより、本学の学生、教員及び地域の学校における情報活用能力の向上に寄与することを目的としています。

31 ほっと広場(災害避難場所)



キャリアサポートセンター(02 2号館1F)



キャリアサポートセンターにはキャリア形成支援部門とボランティア活動支援部門があります。キャリア形成支援部門では、教員採用試験対策講座のほか、日常的にも個別の進路相談や面接指導を行っています。また、ボランティア活動支援部門は、ボランティアに関する情報提供、連絡調整を行い、学生の自主活動を支援しています。

32 防災教育研修機構
「311いのちを守る教育研修機構」



東日本大震災被災地における経験や教訓を活かし、教員を志す次世代の若者に震災を伝承するとともに、現職教員に対する研修を通じて「いのちを守り」「ともに生き抜く」防災教育を推進するとともに、その研究成果を日本全国および諸外国に発信します。

33 青葉こもれび寮



34 旧学生寮
(令和5年度末で廃止)

35 附属特別支援学校



上杉地区

Kamisugi Area

附属幼稚園



附属小学校



附属中学校





[大学・附属学校園までの交通機関]

■ 宮城教育大学・附属特別支援学校まで(青葉山地区)

- [地下鉄東西線] ■ 「仙台」駅から「八木山動物公園」行き乗車、「青葉山」駅下車(乗車時間約9分)、「青葉山」駅「北1出口」から大学正門まで徒歩約9分
- [市営バス] ■ 地下鉄東西線「青葉山」駅「南1出口」前バス乗り場から「宮教大・青葉台」行き乗車、「宮教大前」下車(乗車時間約2分)

■ 附属幼稚園・小学校・中学校まで(上杉地区)

- 仙台駅前バス乗り場から「旭ヶ丘駅」「鶴ヶ谷七丁目」「東仙台営業所」行き乗車、「附属小学校前」下車(所要時間約20分)
- JR仙山線「東照宮」「北仙台」駅から徒歩約10分
- 地下鉄南北線「北四番丁」「北仙台」駅から徒歩約10分

[仙台までの交通機関]

■ 東北新幹線

東京駅	← 1時間35分(はやぶさ) →	仙台駅
新青森駅	← 1時間32分(はやぶさ) →	仙台駅

■ 空路(仙台空港)

新千歳空港(札幌)	← 1時間05分 →	仙台空港
中部国際空港(名古屋)	← 1時間05分 →	
大阪国際(伊丹)空港	← 1時間15分 →	
福岡空港	← 1時間45分 →	
仙台駅	← 仙台空港アクセス鉄道 17分(快速) →	仙台空港



宮城教育大学に興味をお持ちの方へ

プッシュ通知
を設定しよう!

詳しくはこちら! ▶▶▶



国立大学法人
宮城教育大学

URL
<https://www.miyakyo-u.ac.jp/>

